

1. 年度末の計算機サービスの一時停止について
2. ホセンA の利用について(戸畑)
3. POP サーバの学外からの利用禁止について
4. 研究システムのファイルの消去について
5. 今春卒業される方のデータの移行について
6. Mathematicaのサイトライセンスのパスワードについて

§1. 年度末の計算機サービスの一時停止について

下記の期間中、年度末処理および、システムバックアップ作業のため、計算機サービスを一時停止し、センターを閉館します。

- ◆ 3月30日(月)～4月5日(日)

§2. ホセンA の利用について(戸畑)

SCSの工事のため、下記の期間中はホセン A の利用はできません。

- ◆ 3月23日(月)～3月27日(金)

§3. POP サーバの学外からの利用禁止について

ISC-NEWS No.97 でお知らせしたように、POP サーバを運用していますが、このサービスはセキュリティ上、学外からの利用は禁止しております。商用のプロバイダ等にネットワーク接続しての本サーバの利用はできませんのでご注意ください。なお、本サーバを使用しない、一般のメールの送受信には影響しません。

§4. 研究システムのファイルの消去について

平成10年度の継続申請がなされていない研究システムIDのホームディレクトリ下にあるファイルは、平成10年6月1日(月)にすべて消去しますので、その旨ご承知おください。必要なファイルは、それまでに各自で磁気テープ等に保存したり、新規に申請したIDのホームディレクトリに移動してください。一度消去したファイルは、復活できませんので注意してください。

なお、未継続のIDは、平成10年6月1日(月)まで login できますが、上記のファイル整理以外には利用しないでください。

§5. 今春卒業される方のデータの移行について

この春卒業される方は、6月1日(月)以降センターシステムにある ID は抹消され、これと同時に、現在使用されているファイル等も全て削除いたします。もし現在使用されているファイル等で、保存の必要のある方は、利用者自身で磁気テープ等にファイルのバックアップを取るなどの措置を行ってください。

◆ ID・ファイル削除対象者

- ☆学部を卒業する方(大学院に進学する方も含む)
- ☆博士前期課程または、後期課程を終了する方(博士前期課程を終了し、後期課程へ進学する方も含む)
- ☆退学・除籍される方

◆ バックアップ装置

- ☆QIC カセット磁気テープ
- ☆8mm テープ(ビデオテープは使用不可)
- ☆DDS テープ(音楽用 DAT テープは使用不可)
- ☆MO (128MB 及び 230MB)
- ☆フロッピーディスク

バックアップ装置は、教育システムの ID がある方は全員利用出来ます。利用方法については、広報第 9 号「データ交換用WS,PC について」や、センター 2F オペレータ室(戸畑 3476)、プログラム相談室(飯塚 7558)までお問い合わせください。

§6. Mathematicaのサイトライセンスのパスワードについて

平成10年度よりWindows版とMacintosh版のパスワードは、UNIX版と同じように利用者が個別に取得する方式に変更になりました。このため、サイトライセンスを継続利用する利用者の方は、Mathematica3.0.2へのバージョンアップが必要となります。

メディアは、各キャンパスの事務室に用意しています。このとき身分を証明できるものを提示してください。メディアを受け取られましたら、速やかにインストールを行い、その時に表示されるMathIDを記録してください。そのあと、必ず次のWebページから継続利用の確認を行ってください。

<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/mathematica/sinsei/>

継続利用の確認は、4月末までをお願いします。なお、現在のパスワードの期限は4月1日までですので、ご注意ください。

情報科学センターではサイトライセンスの契約上、毎年の利用実態を把握し、適切に利用されていることを確認する必要があります。今後は毎年、継続利用

の確認にご協力ください。



九州工業大学情報科学センター

§1. 戸畑—飯塚間ATM装置の調整について

両キャンパスに設置されているATM装置の調整(帯域調整)を3月5日(木)に行います。調整時間は午後11:00から12:00の間の数分で終了するため、電子メールやネットニュース等には問題ありませんが、ftpやtelnet等のIP接続が切断することがあります。午後11:00から12:00の間は重要なネットワーク利用を控えてください。

なお、詳しくは電子メールで support@isc.kyutech.ac.jp に問い合わせるか、情報科学センター受付(戸畑:3476, 飯塚:7558)まで問い合わせてください。



九州工業大学情報科学センター

§1. 学生用共有ディレクトリの公開について

2月2日(月)より, 学生が自由にツール等を置くことができる共有ディレクトリ /usr/misc を公開することになりました. この /usr/misc の中には

bin, doc, lib, man, share, pub, include, image, tmp

というディレクトリが用意されていて, これらに自由に書き込むことができるようになっています. 学生が作成したコマンドやソースを公開したり, フリーウェアを共用することで, ディスク資源の有効利用を図る目的もあります.

利用の際には, /usr/misc/ の中の README.txt を読んでください. この /usr/misc は学生全員の共有ディレクトリなので, マナーを守って有効に利用してください.



§1. 大学入試センター試験中の閉館について(戸畑キャンパス)

以下の期日は、大学入試センター試験のため情報科学センター(戸畑キャンパス)は閉館します。ただし、センター外からのネットワーク経由の利用は可能です。

・平成 10年1月17日(土曜日)

§2. 教育システムにおける講義時間中のお願い(再掲)

最近、教育システムを利用した講義演習中に、講義演習を妨げる大きなプログラムが頻繁に実行されており、講義を受講している学生や講義担当者が非常に困っています。講義時間内はこのようなプログラムを実行しないよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、これらのプログラムによって、講義演習に支障が生じる場合は、これらのプログラムを強制終了する場合がありますので、ご注意ください。研究のために大きなプログラムを実行する場合は、研究システムの利用、または、夜間の利用をして頂くようお願いいたします。

研究システムの利用方法については、

<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/>

をご覧ください。



§1. 年末年始のサービス時間変更について

情報科学センターの年末年始のサービス業務の変更については以下のとおりです。

★12月24日～1月4日

- ・戸畑キャンパス サービス業務停止
- ・飯塚キャンパス サービス業務停止

★1月5日～6日(9:00～17:00)に利用できる教室

- ・戸畑キャンパス デバック室
- ・飯塚キャンパス AV講義室

★1月7日～

- ・戸畑キャンパス 通常通りの運用
- ・飯塚キャンパス 通常通りの運用

また、年末年始のサービス業務停止期間中は、原則として教育用コンピュータシステムの運用を停止します。ただし、研究用コンピュータシステムは障害が発生しない限り、センター外からのネットワーク経由の利用が可能です。

§2. 戸畑－飯塚間ATM装置の調整について

両キャンパスに設置されているATM装置の調整(帯域調整)を12月20日(土)に行います。調整時間は13:00から15:00の間の数分で終了するため、電子メールやネットニュース等は問題ありませんが、ftpやtelnet等のIP接続が切断することがあります。13:00から15:00の間は、重要なネットワーク利用を控えてください。

なお、詳しくは電子メールで support@isc.kyutech.ac.jp に問い合わせるか、情報科学センター受付(戸畑:3476,飯塚:7558)まで問い合わせてください。



§1. 工大祭期間中のセンターの閉館について

工大祭期間中、情報科学センター教育システムの計算機サービスを一時停止します。これに伴いセンターを閉館しますが、ネットワークによる研究システムの利用は可能です。以下の期間は終日閉館です。

- ☆戸畑キャンパス 11月21日(金), 22日(土), 25日(火)
- ☆飯塚キャンパス 11月21日(金), 25日(火)

§2. 対外ネットワーク接続の改善・拡張について

現在、本学が対外接続のために加入している九州地域研究ネットワーク KARRN は、1998年3月末をめどに、ネットワーク接続サービスを停止する予定です

(図1[現状]参照).

それに伴い、本学の対外ネットワーク接続先を、文部省・学術情報センターの構築運営する学術情報ネットワーク SINET へ移行します。

また、KARRNに加入していた北九州地域の大学、短大等からなる北九州ネットワーク協議会から、北九州地域10大学等を取りまとめてSINET接続させてもらいたい旨の依頼がありました。このため、これら大学等の回線を戸畑キャンパスでいったん取りまとめて、九州大に接続することになりました(図1[移行後]参照)。

本学にとってのこの回線は、地域に貢献するだけでなく、北九州地域10大学等への直接的な接続および万一の場合のバックアップの意味を持つこととなります。

SINETに参加するサイトは、地域の拠点となるノード校(例:九州大)、ノード校ではないが地域の取りまとめを行なう参加校(例:本学)、単なる参加校(例:北九州地域10大学)との3種類からなります。ノード校に対しては、大容量の回線および機器の割り当てが自動的に学術情報センターからなされます。

これらの事柄をふまえ、本学の学術情報ネットワーク分野での地位向上とネットワーク処理上有利な立場の獲得を実現することを目標として、SINET 内で拠点的なノード校への昇格を目指していきたいと思っております(図1[将来]参照)。

具体的な移行作業(予定含む)については以下の通りです。

- ・平成 9年 8月に、学術情報センターへ移行ならびに昇格の打診を行ないました。学術情報センターは、図1[移行後]に示す本学の新体制、即ち1校に2つの参加組織(飯塚、戸畑)を認めることに同意し、特に北九州地域の大学などへ配慮したネットワーク構成に対し、謝辞がありました。
- ・飯塚キャンパス
学術情報センターへの申請終了。9月末には接続切替え作業開始。11月末には移行作業終了予定。
- ・戸畑キャンパス
北九州地域10大学等からの関連書類を受理し、学術情報センターへの申請準備中。平成10年3月までに移行作業終了予定。

§3. 公衆電話回線からの戸畑接続点(戸畑アクセスポイント)増強について

戸畑アクセスポイントの回線数が 2 回線増強され、合計 8 回線になりました。戸畑アクセスポイントにつきましては、ISC-NEWS No.82(1996.6.27)

URL <http://www.isc.kyutech.ac.jp/iscnews/>

をご覧ください。



§1. Mathematica セミナーの開催について

工学部数理情報基礎講座の木村広助教授による Mathematica の講習会を(株)日本電子計算の協賛、情報科学センターの協力の下、取り行う予定です。詳細については下記情報をご覧の上、木村助教授にお問い合わせください。

=====

Mathematica セミナー

教育や研究の分野でますますポピュラーになりつつあるコンピュータ言語 Mathematica の講習会を、10月3日(金)、日本電子計算(株)の協力で開催します。Mathematica に興味をお持ちの教職員、学生、大学院生の講習会への参加をお待ちしています。

Mathematica はバージョン 3.0 になってフロントエンドが劇的に改良されました。セミナーは Mathematica 経験者のための第一部と、これから Mathematica を使ってみようと思うユーザのための第二部とに分かれています。両方のセミナーへの出席も歓迎します。

なお、本大学は Mathematica のサイトライセンス契約をしています。大学管轄のコンピュータであれば自由に Mathematica をインストールし利用することができます。研究室やゼミ室のコンピュータで利用することをお薦めします。

第一部 Mathematica 3.0 体験コース

時間: 10月3日(金)10:00~12:00
場所: 戸畑情報科学センター 2F マルチメディアパソコン室
内容: Mathematica 2.2のユーザを対象に、MATHEMATICA 3.0 のプログラミングについて実習を通して解説する。
使用機種: DOS/V 9台 (Windows95,WindowsNT)
定員: 20名

第二部 Mathematica 紹介コース

時間: 10月3日(金)13:30~16:00
場所: 戸畑情報科学センター 1F ホセン C 室
内容: MATHEMATICA 3.0でどんなことができるか、その機能を紹介します。C や Fortran のプログラムとのインタフェース、Mathematicaを使った 簡単な並列計算について解説します。
定員: 100名

参加希望者は参加コース(第一部、第二部、あるいは両方)を明記の上、

連絡先: 数理情報基礎講座 木村 広
電子メール: hkim@melt.kyutech.ac.jp あるいは、
電話: 884-3457

まで連絡下さい。申し込み締め切りは10月1日です。当日の飛び入り聴講も歓迎しますが、資料作成の都合上、できるだけ、参加申し込みをしてください。



§1. 情報科学センターの臨時閉館について

教育システム用WSのCPUボードの交換作業のために、以下のとおり閉館します。

☆戸畑キャンパス:9月16日(火) 終日
☆飯塚キャンパス:9月17日(水) 終日

上記の作業のために、教育システムを臨時停止しますので、端末は終日利用できません、また、ネットワーク経由での利用もできません。

ただし、試験での講義室のみの使用には差し支えありません。

§2. 情報科学センターに関する情報公開について

情報科学センターに関する情報公開を行うためのWWWサーバを用意しました。
このサーバ(<http://www.isc.kyutech.ac.jp/>)では、

- ・役割, 規則, 歴史, 関連委員会のメンバについて
- ・計算機構成およびサービス内容
- ・ISCニュースや広報などの掲示
- ・教育システムへの登録や研究システムへの登録

などに関する情報を公開しています。どうぞご利用ください。



§1. POP サーバの正式運用と予備公開の開始について

パソコンによる Netscape, Eudora 等の電子メールリーダ(POPクライアント)が使用するPOP(Post Office Protocol)サーバの正式運用を10月1日(水)より開始します。正式運用に向けて、現在、予備公開を開始しています。

本サーバを利用するためには利用登録が必要です。利用登録は、9月1日(月)より以下の Web ページにて受け付けます。8月31日(日)までは、未登録でも利用できます。なお、実験運用中のPOPサーバ aoba.edu.isc.kyutech.ac.jpは、10月10日(金)まで未登録でも利用できます。

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/pop.html>

各サーバのアドレスは以下の通りです。なお、電子メールリーダの設定は、各ソフトのマニュアルをご覧ください。設定方法がわからない方は、§2. のように講習会を開催しますのでご参加ください。

★戸畑キャンパス

POPサーバ : pop.tobata.isc.kyutech.ac.jp
SMTPサーバ : smtp.tobata.isc.kyutech.ac.jp
メールアドレス: 教育システムのメールアドレスと同じ
(例 a0001aa@tobata.isc.kyutech.ac.jp)

★飯塚キャンパス

POPサーバ : pop.iizuka.isc.kyutech.ac.jp
SMTPサーバ : smtp.iizuka.isc.kyutech.ac.jp
メールアドレス: 教育システムのメールアドレスと同じ
(例 a0001aa@iizuka.isc.kyutech.ac.jp)

§2. 電子メールリーダの設定と電話回線からの利用に関する講習会開催のお知らせ

標記講習会を以下の要領で開催します。電子メールリーダの設定が分らない方、興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。なお、講習会終了後、希望者を対象に、電子メールリーダ(Netscape, Eudra 等)の設定に関する演習を行います。なお、演習にはWindows パソコンを使います。

- ・日時: 9月3日(水) 13:30 ~ 15:00
- ・会場: 情報科学センター 戸畑キャンパス 1F ホセンB
- ・対象: 情報科学センターのPOPサーバを利用される方
- ・内容: POPサーバの利用上の注意について
電子メールリーダの設定方法について
電子メールの到達性について
電話回線からの利用について



§1. 夏休み中のセンター運用スケジュールについて

夏休み中のセンターの運用スケジュールは、以下のとおりです。

★戸畑キャンパス

利用できる教室:ホセンC, デバック室, マルチメディアパソコン室,
研究用端末室

利用できる期間:7月14日(月)～ 8月29日(金)

利用できる時間:9:00～ 17:00 (但し, 午前中休館日(月)は 12:00～)

★飯塚キャンパス

利用できる教室:端末講義室, 端末演習室1, 端末演習室2

利用できる期間:7月14日(月)～ 9月5日(金)

利用できる時間:9:00～ 17:00 (但し, 午前中休館日(水)は 12:00～)

★システム保守のためのセンター閉館(両キャンパスとも)

期間:8月9日(土)～8月17日(日)

§2. Mathematica サイトライセンスの利用申請方法の変更について

Mathematica サイトライセンスの利用申請の方法を, メールでの申請から Web での申請に変更します. 今後は, メールではなく Web 上から指定のフォーマットで申請してください. 申請方法等については, 以下の URL を参照してください.

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/>

§3. 無線LANサービス開始のお知らせ(飯塚)

情報科学センターでは, 情報工学部が導入した『講義棟無線LANシステム』の運用の委託をうけて, 下記のとおり平成9年7月14日(月)より運用を開始します. なお, 技術的な質問等は, 情報科学センター2階プログラム相談室(7558)にお問い合わせください.

1. 利用者

当面の利用者は教職員のみです. ただし, 利用の際には情報科学センターのパソコン登録をしている必要があります. パソコン登録について詳しくは,

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/>

を参照してください.

2. 装置の貸し出し

●PCMCIAカードアンテナ+ドライバソフト(Windows95ノート用)

Windows95が動作しているノートパソコンがご利用になれます. 貸し出し業務は当面の間, 情報科学センター(飯塚プログラム相談室)が行います.

●汎用アンテナ装置+ミニHUB(Macおよびその他OS用)

10Base-tのネットワークインタフェースを持ったパソコンがご利用になれます. 貸し出し業務は学務係が行いません.



§1. 研究用IDの登録について

4月より WWW での登録に移行していましたが、職員用ID、講義用ID、TA用ID、聴講生用ID、研究生用IDに加えて、6月より研究用IDの申請、登録が WWW でできます。Netscape Navigator でのみ利用が可能です。

ただし、支払責任者登録をしていない新規登録の際は、事前に支払責任者登録をする必要があります。情報科学センター事務室にある支払責任者登録用紙に必要事項を記入の上、センター事務室に提出してください。

学部生、大学院生等が研究登録をする場合、指導教官が支払責任者登録をしている必要があります。

登録方法等、詳細については以下のURLをご覧ください。

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/>

§2. デジタルカメラの貸し出しについて

ホームページの作成支援として、デジタルカメラQV-100 の貸し出しを6月2日(月)より開始します。同時に貸し出しできる台数は各キャンパス3台(貸し出し期間は一週間で1人1台)までとなっています。なお、データは情報科学センターのパソコンでダウンロードできます。貸し出し希望者は、必ず学生(職員)証をもって各キャンパスプログラム相談室までお越しください。



§1. BSD/OS 3.0 の貸し出しについて

情報科学センターでサイトライセンスを取得し、公開していました BSD/OS の Ver. 3.0 アップデートキットが届きました。5月21日(水)より貸し出しを開始します。貸し出し希望の方は、両キャンパス情報科学センター2階、プログラム相談室までお越しください。

§2. プリンタ用紙の利用制限について(再掲)

現システムでのプリンタ用紙の使用制限については、先に ISC-News でお知らせしましたとおり、一人当たり 300枚/1年 となっています。300枚を越えた方はプリントアウトができなくなります。ご注意ください。



§1. 情報技術セミナーに伴う演習室の利用について(飯塚キャンパス)

端末演習室1, 端末演習室2(情報科学センター3F)は下記の期間中, 情報技術セミナーで使用します. セミナー関係者以外の入室はご遠慮ください. なお, 下記の時間帯以外は通常どおり利用できます.

★5月12日(月)～6月20日(金) 8:50～16:00

§2. 大学院生用IDについて(飯塚キャンパス)

大学院生用IDについては, 申請者のみ登録を行なう方法(可変登録制)を採っていましたが, 本年度より大学院に在籍しているすべての学生について登録を行なう方法(固定登録制)に変更します.

これは, 教務情報システムの適用範囲の拡大に伴い, 履修申告や電子メールを使った呼び出し等に対応するためです. 大学院生用IDは各キャンパスのプログラム相談室にて配布していますので, 速やかに取りにきてください.

なお, ISC-News No.77 で、『すでにユーザ登録を行っている大学院生のユーザ名は引続き利用できます.』と広報していましたが, ユーザ名は原則として新しいユーザ名に変更していただきます. 旧ユーザ名は97年6月中に使用できなくなりますので, .forward の設定およびディスク内容の移動をお願いします.

ただし, 旧ユーザ名 .forward によるメール転送は, 本学に在籍している限りサポートします.



§1. マルチメディアパソコン室の設置について(戸畑キャンパス)

学生がインターネットやマルチメディア技術等を自由に学習できる場所として、戸畑キャンパス情報科学センター2階(図1参照)に、マルチメディアパソコン室を設けました。5月12日から公開します。表1に公開する機器を示します。表2に利用できるソフトウェアを示します。これらの機材を利用することにより、ビデオのノンリニア編集、イメージの加工等ができます。ホームページの作成等に利用してください。

なお、利用には申請が必要です。次のURLが申請用のWebページです。

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/iscint.html>

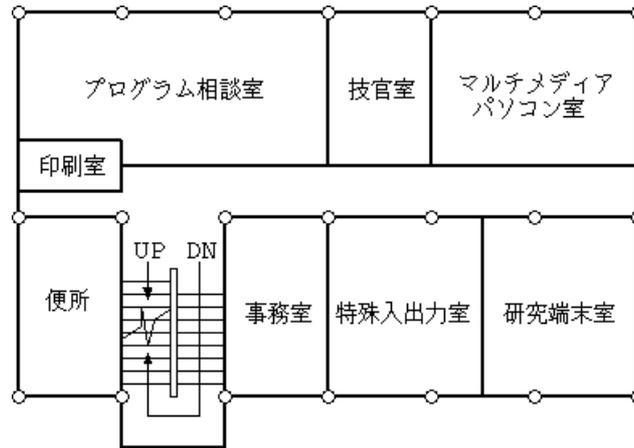


図1:機器の設置場所

表1:公開する機器

機器名	台数
PERSONAL WORKSTATION 200i (WindowsNT4.0)	6台
ビデオキャプチャ用機器	一式

表2:利用できるソフトウェア

ソフトウェア名	数
Microsoft Office Pro	6
Microsoft Visual C++ Standard	5
Microsoft Visual C++ Pro	1
Microsoft Visual BASIC	2
G.CREW3	6
Adobe Premiere 4.2j	6
Adobe Photoshop 3.0J	2
Adobe Photoshop LE-J	4
Adobe Illustrator 4.1J	3
Director	2
Syplex/3D	1
Light Wave 3D	1

§2. 教育システムの増強について

教育システムのシステム能力に余裕を持たせることにより、主に多人数利用時の、安定性、信頼性の向上をはかるため、教育システムを増強しました。

以下に教育システムの全マシン名を挙げます(2つの教室にまたがって端末があるマシンは重複して書いています)。

★戸畑キャンパス

ホセンB : ayame,suzuran,sumire,botan

ホセンC : botan,keshi,yuri,kikyo,akane,renge

デバッグ室: tanpopo,ayame,renge

☆飯塚キャンパス

端末講義室 : hakucho,toki,ootori,hibari,hayabusa,komadori,haruka

端末演習室1: hato,kamome

AV講義室 : raicho,kari,taka,tsuru,sagi,tsubame

AV演習室 : raicho,tsubame



九州工業大学情報科学センター

§1. ダイアルアップ IP 接続のテスト運用について(飯塚キャンパス)

PPP プロトコルを用いたダイアルアップ IP 接続のテスト運用を開始します。自宅からの IP 接続により, WWW などの利用が可能となります。但し, IP 到達性は, 情報科学センター教育システムに準じます(1997/4/1 現在, 九工大内のみ, 直接学外への IP レベルの通信はできません)。なお, 利用できるのは PPP 接続のみで, 従来型での接続はできません。

正式運用開始は, 5月初旬を予定しています。

電話番号 : 0948-26-2224
自ホスト IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ゲートウェイ IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ネームサーバアドレス : 131.206.128.10
ネームサーバホスト名 : nozomi.edu.isc.kyutech.ac.jp
ドメイン名 : edu.isc.kyutech.ac.jp
ユーザ認証方式 : PAP
認証 ID : 教育システムと同一 ID
認証パスワード : 教育システムと同一パスワード

利用できる通信方式 : アナログ : V.34bis(最高 28800bps)
: ISDN : V.110非同期(最高 38400bps)
: " : 64Kbps同期
: " : MP128Kbps同期(一部の機種)

接続方法の詳細については

<http://www.iizuka.edu.isc.kyutech.ac.jp/info/ppp/>

を参照してください。

なお, テスト運用につき予告なしに停止, あるいは設定変更を行うことがあります。

また, 利用された方は接続に使用した機器と使用感(接続性, 安定性)などについてセンターまで簡単なレポートをいただくと幸いです。

§2. 情報科学センターのID登録について

本年度より情報科学センターのID登録を WWW での登録に変更します。研究用ID, 講義用ID, TA用IDについては申請書が必要ですが, 職員用ID, 聴講生・研究生用IDは申請書は必要ありません。

登録方法等, 詳細については

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/touroku/>

をご覧ください。



§1. 旧研究用WS運用停止について

旧システムの研究用WS(SS/10互換機, SS/20互換機)で, システム更新後も利用が可能であった hotoke, suzuna, res1~res5 は故障が多いため3月末をもって運用を停止します. ご注意ください.

§2. 講義用IDの継続について

平成8年度に登録した講義用IDを継続(または抹消)する場合は, 3月中旬に配布した『講義用ID確認書』に必要事項を記入の上, 3月31日(月)までに情報科学センター事務室に提出してください. 新規の講義用IDの登録は, 4月7日(月)より受付を開始しますので, 登録用紙(センター事務室で4月7日より配布)に必要事項を記入の上提出してください.

§3. 年度末の計算機サービスの一時停止について

下記の期間中, 年度末処理および, システムバックアップ作業のため, 計算機サービスを一時停止し, センターを閉館します. ネットワーク経由の利用に関しては, システムに支障がない限り利用できます.

★3月31日(月)～4月6日(日)

§4. mathematica の利用について

両キャンパス教育システムおよび, 研究システムの res000 で数学処理パッケージソフト Mathematica が利用できるようになりました. math コマンドで起動します. Mathematica フロントエンドプロセッサの mathematica コマンドも利用できます. 詳しい利用方法については,

<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/mathematica/>

や, man コマンド, 書籍などをご覧ください.



§1. 年末年始のサービス時間の変更について

情報科学センターの年末年始のサービス業務については、以下のとおりです。

★12月24日, 25日に, 利用できる講義室

- ・戸畑キャンパス デバック室 9:00 ~ 17:00
- ・飯塚キャンパス AV講義室, 端末演習室2 9:00 ~ 17:00

★12月26日 ~ 1月6日

- ・戸畑キャンパス サービス業務停止
- ・飯塚キャンパス サービス業務停止

★1月7日 ~

- ・戸畑キャンパス 通常どおりの運用
- ・飯塚キャンパス 通常どおりの運用

また, 年末年始のサービス業務停止期間中は, 原則として教育用計算機システムの運用を停止します。ただし, 研究用計算機システムは障害が発生しない限り, センター外からのネットワーク経由の利用が可能です。



§1. 研究システム課金開始のお知らせ

すでに、ISC-News等でお知らせしましたように12月1日より研究システムの課金を開始します。情報科学センターが提供する標準的な環境設定の場合には、課金情報がログイン時に表示されます。また、chargeコマンドを利用しても課金情報を見ることができます。なお、負担金は以下のようになっています。

ファイル負担金: 15Mを越えるものに対して0.2(円/MB×日)×経年指数
CPU負担金: 6時間/週までの利用を越えるCPU時間に対して0.025(円/秒)
×経年指数

§2. AVS 講習会開催について

以下のとおり、プログラミングのいらない汎用グラフィックツールとして定評がある AVS の講習会を開催いたしますので、お誘い合わせの上ご参加ください。同じ講習を午前と午後の2回行います。AVS は研究システムで利用可能なソフトウェアですが、研究システムユーザでない方も歓迎します。

★AVS 講習会★

日時: 12月11日(水曜日), 午前の部 10:30~12:00
午後の部 13:00~14:30

場所: 戸畑情報科学センターホセン C

対象: データの視覚化に興味のあるユーザ

講師: 日本電子計算(株) 木島秀弥 氏

§3. 教育システム用 SUN の利用停止について

機種更新後も利用が可能だった spica を、当初予定していたとおり12月4日(水)をもって停止します。これ以降は利用できなくなりますので、ご注意ください。



§1. 工大祭期間中のセンターの閉館について

工大祭期間中、センター教育システムの計算サービスを一時停止します。これに伴いセンターを閉館しますが、ネットワークによる研究システムの利用は可能です。以下の期間は終日閉館です。

☆戸畑キャンパス 11月21日(木), 22日(金), 23日(土)
☆飯塚キャンパス 11月21日(木), 22日(金)

§2. パソコン端末への登録方法について

飯塚キャンパスでは、今年度よりパソコン端末(OS:Windows-NT)を、端末演習室2に設置していますが、これを利用するためにはユーザ登録が必要です。登録は、ネットワーク上の端末から WWW ブラウザーを使用して、以下の URL にアクセスしてください。

<http://www.isc.kyutech.ac.jp/shinsei/>

各種申請書の『情報科学センターパソコン登録』で必要事項を入力して申し込むと登録ができます。ただし、パソコン端末を利用する際のユーザ名およびパスワードは、UNIX のものと同一のものになります。そのため登録は、情報科学センターの ID を持っている必要があります。

なお、戸畑キャンパスのパソコン端末は、来年度に設置予定です。設置時期など詳細は、改めて ISC-News でお知らせします。



九州工業大学情報科学センター

§1. 研究端末室の移動について(戸畑)

研究端末室をこれまで留学生サロンとして使っていた部屋(下図を参照)に移動しました。

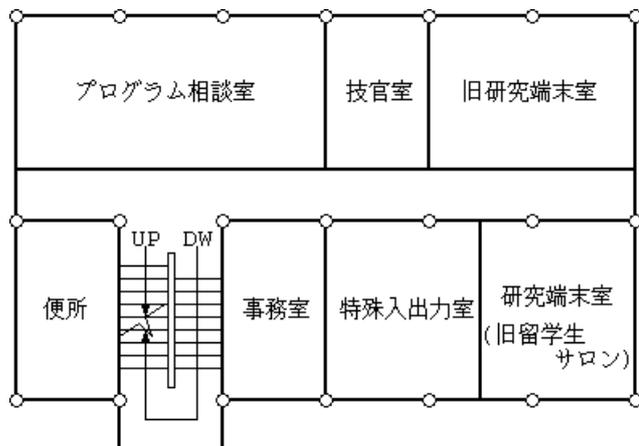


図: 戸畑キャンパス 情報科学センター 2F

また、この部屋にはデータ交換用の機器を設置予定です。これにより、データのバックアップやカラープリンターへの出力が同じ部屋でできるようになります。データ交換用の機器については、準備が整い次第公開します。なお、機器の故障を防ぐため、室内は禁煙とします。飲食もご遠慮ください。

§2. サテライト端末の運用時間について(飯塚)

現在、飯塚キャンパス内のサテライト端末の運用は、以下のとおりです。

利用できる場所: 福利厚生棟, 一般教養棟1Fロビー, 2Fロビー, 図書館
 利用時間: 9:00~21:00

なお、土曜日、日曜日、祝祭日等、情報科学センターが閉館している時は利用できません。

§3. 研究システムの課金について

これまでは、運用規則の「CPU負担金に関しては、研究システムの運用始めから数ヶ月間の課金試行期間を設け、この間の実際の課金は行わない。」に従い、CPU課金を行っていませんでした。研究システムも6月から運用を開始し、4ヶ月が経過しております。途中、障害等が発生しご迷惑をおかけすることもありましたが、現在は、安定に運用できるようになりました。

現在、CPU課金を始めるにあたり、本格的な課金システムのテストを行っています。これに伴い、ログイン時に課金情報が表示されますが、実際の課金は12月1日(日)より始める予定です。

§4. プログラム最適化のお願い

研究システムが最近混雑してきています。デバッグが終わったプログラムを実行するときは、コンパイル時に最適化をできるだけしていただくようお願いいたします。最適化を行わない場合の4~5倍のスピードが出る場合があります。長時間動作させるプログラムを最適化することによって、計算が早く終了し、CPU課金(現在はまだ行っていません)が安くなり、多くの人が快適にシステムを利用できるようになります。

以下はコンパイル時に、最適化を行う例です。ここで -mips2 のオプションは、Sony NEWS を使う場合に非常に有効なオプションです。

FORTRAN 90 の場合

```
f90 -O2 -o daikei2 daikei2.f
f90 -O3 -mips2 -dn -o daikei2 daikei2.f
```

C の場合

```
cc -O2 -o linpack linpack.c -lm
cc -O3 -mips2 -non_shared -o linpack linpack.c -lm
```

§5. 教育システムにおける講義時間中のお願い

最近、教育システムを利用した講義演習中に、講義演習を妨げる大きなプログラムが頻繁に実行されており、講義を受講している学生や講義担当者が非常に困っています。講義時間内はこのようなプログラムを実行しないよう、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

なお、これらのプログラムによって、講義演習に支障が生じる場合は、これ

らのプログラムを強制終了する場合がありますので、ご注意ください。研究のために大きなプログラムを実行する場合は、研究システムの利用、または、夜間の利用をして頂くようお願いします。

研究システムの利用方法については、

<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/>

をご覧ください。

§6. 研究システムと教育システムのメールアドレスの統一について

従来から ISC-News 等で研究システムと教育システムのメールアドレスを統一することを、お知らせしていましたが、センター側移行準備が整いつつありますので、研究システムでの従来のメールアドレス

---@hakobera.isct.kyutech.ac.jp

を 1997年3月31日 までで終了させていただきます。それまでに、

戸畑ユーザは ---@tobata.isc.kyutech.ac.jp

飯塚ユーザは ---@iizuka.isc.kyutech.ac.jp

に移行してください。なお従来研究システムでメールを読み書きしていた方は、教育システムにログインするなどしてください。

§7. 簡易グラフィックライブラリのカラー化について

情報科学センターで標準的に利用できる簡易グラフィックライブラリで色が表示できるようになりました。色を表示するためには、従来の描画を行う関数(手続き)名に `_c` を付けて、色の名前を引数の最後に付けて実行します。例えば `line_c(10,10,100,200,"red")` は、赤い直線(10,10)-(100,200)を描画します。ここで使う色の名前は、X ウィンドウのコマンド `xcname` で調べる事ができます。

なお、従来の関数と互換性を保つため、昨年度末に授業担当者向け講習会で説明させていただいた利用方法と異なっています。お詫びいたします。ご利用にあたってはご注意ください。

以下はこのグラフィックライブラリを使った C プログラムの例です。なお、このプログラムの例は、オンラインガイドでもご覧いただけます。

<http://www.iizuka.edu.isc.kyutech.ac.jp/tebiki/CG/>

<http://www.tobata.edu.isc.kyutech.ac.jp/tebiki/CG/>

/*

X window 用簡易グラフィックライブラリ関数一覧表

コンパイル方法例 `cc how2plot2.c -lxc4014 -lm -lX11`

実行方法例 `a.out`

注、色の指定は、以下の関数の `color` 引数 に、`"red"`, `"blue"`, `"green"`, ... などの名前を文字列で与える。

X ウィンドウのコマンド `xcname` で、色の名前を知ることができる。

`color` 引数がない関数は、直接描画を行わない関数または黒で描画を行う関数である。

`openpl()`
700 x 7000 のグラフィックスウィンドウを開く。

`close()`
グラフィックスウィンドウを閉じる。

`e_openpl(int x, int y)`
縦が `x` 横が `y` の大きさのウィンドウを開く。

`erase()`
グラフィックスウィンドウの内部を消去する。

`e_erase(int x1, int y1, int x2, int y2)`
(`x1,y1`)-(`x2,y2`) の範囲を消去する。

`space(int x1, int y1, int x2, int y2)`
グラフィックスウィンドウの左下隅座標を(`x1,y1`), 右上隅座標を(`x2,y2`)とする。

`line(int x1, int y1, int x2, int y2)`
(`x1,y1`)-(`x2,y2`) 間に線分を引く。

`line_c(int x1, int y1, int x2, int y2, char *color)`
(`x1,y1`)-(`x2,y2`) 間に、`color` 色で線分を引く。

`circle(int x, int y, int r)`
(`x,y`)を中心に半径 `r` の円を描く。

`circle_c(int x, int y, int r, char *color)`
(`x,y`)を中心に半径 `r` の円を `color` 色で描く。

`arc(int x, int y, int x1, int y1, int x2, int y2)`
(`x,y`) を中心に (`x1,y1`) から (`x2,y2`) に向かって、反時計方向に円弧を描く

arc_c(int x, int y, int x1, int y1, int x2, int y2, char *color)
(x,y) を中心に (x1,y1) から (x2,y2) に向かって, color 色で,
反時計方向に円弧を描く.

move(int x, int y)
(x,y) にペンを移動する.

cont(int x, int y)
元のペンの位置から (x,y) まで直線を描き, (x,y) を
新しいペンの位置とする.

cont_c(int x, int y, char *color)
元のペンの位置から (x,y) まで color 色で直線を描き, (x,y) を
新しいペンの位置とする.

label(char *a)
ペンの位置に文字列 a を描く

label_c(char *a, char *color)
ペンの位置に文字列 a を color 色で描く

linemod(char *a)
線の種類を "solid"(default), "dotted", "shortdashed",
"dotdashed", "longdashed" のどれかにする.

linew(int w)
線の太さを w にする. w は 0 以上の整数.

tilemod(int m)
塗りつぶしのパターンを m にする. m は 0 から 16 までの数.
0 から 8 にかけて, 濃淡が連続的に変化する.
0 が最も濃く, 8 が最も薄い.

lines(int n, int *xy)
折れ曲がり線
(xy[0],xy[1])-(xy[2],xy[3])- ...-(xy[n-2],xy[n-1]) を描く.

lines_c(int n, int *xy, char *color)
折れ曲がり線
(xy[0],xy[1])-(xy[2],xy[3])- ...-(xy[n-2],xy[n-1])
を color 色で描く.

box(int x1, int y1, int x2, int y2)
最後の tilemod で箱 (x1,y1)-(x2,y2) を塗りつぶす.

box_c(int x1, int y1, int x2, int y2, char *color)
最後の tilemod で箱 (x1,y1)-(x2,y2) color 色で塗りつぶす.

fcircle(int x, int y, int r)
最後の tilemod で中心 (x,y), 半径 r の円を塗りつぶす.

fcircle_c(int x, int y, int r, char *color)
最後の tilemod で中心 (x,y), 半径 r の円を color 色で塗りつぶす.

polygon(int n, int *xy)
最後の tilemod で多角形
(xy[0],xy[1])-(xy[2],xy[3])-...-(xy[n-2],xy[n-1])-(xy[0],xy[1])
を塗りつぶす.

polygon_c(int n, int *xy, char *color)
最後の tilemod で多角形
(xy[0],xy[1])-(xy[2],xy[3])-...-(xy[n-2],xy[n-1])-(xy[0],xy[1])
を color 色で塗りつぶす.

*/

```
#include <math.h>
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
#include <sys/types.h>
#include <sys/timeb.h>
```

```
/* get today's current time (sec) */
int times()
{ struct timeval tv; gettimeofday(&tv);
  return tv.tv_sec * 1000 + tv.tv_usec / 1000; }
```

```
/* random numbers */
double rnd() { double d; int r; d=32780.0; r=rand(); return(r/d);}
```

```
/* randomize..(by seed) */
randomize(unsigned int x) {srand(x);}
```

```
main()
{
  int x1,y1,x2,y2,r,x,y,i,j,k,n;
  int xy[50];
  char word[50];
```

```
char *colors1[]={ "white", "red", "green", "blue", "black", "purple",
  "yellow", "gray", "navy", "pink" };
```

```
char *colors2[]={ "floral white", "old lace", "linen", "antique white",
```

```

        "papaya whip", "blanched almond", "bisque",
        "peach puff", "navajo white", "moccasin");

/* initialize */
randomize(times());

openpl();
space(0,0,1000,1000);

n=500;

/* "line" */
for(i=0;i<n;i++){
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    line(x1,y1,x2,y2);
}
getchar();
erase();

/* "line_c" */
for(i=0;i<n;i++){
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    line_c(x1,y1,x2,y2,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* "box" and "tilemod" */
for(i=0;i<n/5;i++){
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    tilemod((int)(rnd()*16));
    box(x1,y1,x2,y2);
}
getchar();
erase();

/* "box_c" and "tilemod" */
for(i=0;i<n/5;i++){
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    tilemod((int)(rnd()*16));
    box_c(x1,y1,x2,y2,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* change window size "e_openpl", line width "linew" and "linemod" */
closepl();
e_openpl(400,400);
space(0,0,1000,1000);
linew(2);
linemod("solid");

/* "line" */
for(i=0;i<n;i++){
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    line(x1,y1,x2,y2);
}
getchar();
erase();

/* "circle" */
for(i=0;i<10;i++){
    x=rnd()*1000; y=rnd()*1000; r=rnd()*300;
    circle(x,y,r);
}
getchar();
erase();

/* "circle_c" */
for(i=0;i<10;i++){
    x=rnd()*1000; y=rnd()*1000; r=rnd()*300;
    circle_c(x,y,r,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* "arc" */
for(i=0;i<10;i++){
    x=rnd()*1000; y=rnd()*1000;
    x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
    x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
    arc(x,y,x1,y1,x2,y2);
}
getchar();
erase();

```

```

/* "arc_c" */
for(i=0;i<10;i++){
  x=rnd()*1000; y=rnd()*1000;
  x1=rnd()*1000; y1=rnd()*1000;
  x2=rnd()*1000; y2=rnd()*1000;
  arc_c(x,y,x1,y1,x2,y2,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* "fcircle" and "tilemod" */
for(i=0;i<n/5;i++){
  x=rnd()*1000; y=rnd()*1000; r=rnd()*300;
  tilemod((int)(rnd()*16));
  fcircle(x,y,r);
}
getchar();
erase();

/* "fcircle_c" and "tilemod" */
for(i=0;i<n/5;i++){
  x=rnd()*1000; y=rnd()*1000; r=rnd()*300;
  tilemod((int)(rnd()*16));
  fcircle_c(x,y,r,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* some "limod" and "lines" */
for(i=0;i<5;i++){
  k=4+2*rnd()*6;
  linemod("dotted");
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  lines(k,xy);

  k=4+2*rnd()*6;
  linemod("solid");
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  lines(k,xy);

  k=4+2*rnd()*6;
  linemod("shortdashed");
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  lines(k,xy);

  k=4+2*rnd()*6;
  linemod("dotdashed");
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  lines(k,xy);
}
move(500,500);
label("ok?");
getchar();
erase();

/* "label" */
for(i=0;i<n/10;i++){
  x=rnd()*1000;
  y=rnd()*1000;
  move(x,y);
  k=1+rnd()*10;
  for(j=0;j<k;j++) word[j]='a'+(char)(rnd()*26);
  word[k]='\0';
  label(word);
}
getchar();
erase();

/* "label_c" */
for(i=0;i<n/10;i++){
  x=rnd()*1000;
  y=rnd()*1000;
  move(x,y);
  k=1+rnd()*10;
  for(j=0;j<k;j++) word[j]='a'+(char)(rnd()*26);
  word[k]='\0';
  label_c(word,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* "polygon" */
for(i=0;i<n/10;i++){
  k=6+2*rnd()*6;
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  tilemod((int)(rnd()*8));
  polygon(k,xy);
}
getchar();
erase();

```

```
/* "polygon_c" */
for(i=0;i<n/10;i++){
  k=6+2*rnd()*6;
  for(j=0;j<k;j++) xy[j]=rnd()*1000;
  tilemod((int)(rnd()*8));
  polygon_c(k,xy,colors1[(int)(rnd()*10)]);
}
getchar();
erase();

/* graduation by "tilemod" */
for(i=0;i<9;i++){
  x1=100+i*80; x2=x1+80;
  y1=450; y2=550;
  tilemod(i);
  box(x1,y1,x2,y2);
}
getchar();
erase();

/* graduation by colors */
tilemod(0);
for(i=0;i<10;i++){
  x1=100+i*80; x2=x1+80;
  y1=450; y2=550;
  box_c(x1,y1,x2,y2,colors2[i]);
}
getchar();
erase();

closepl();
}
```



§1. 端末講義室の利用について(飯塚)

教室拡張工事をしております端末講義室ですが、10月7日(月)の後期開始にあわせて、再び利用できるようになります。授業期間中の利用時間帯は、従来どおり 8:50 ~ 22:00 です。

§2. BSD/OSのメディア購入について

現在貸し出しをしていますBSD/OS のメディアですが、希望者には購入できるようにしました。購入できる品名と価格は以下のとおりです(価格に消費税、送料等は含まれていません)。

- ・BSD/OS CD-ROM セット ¥4,000
- ・日本語キット CD-ROM ¥2,500
- ・インストールマニュアル(日本語/英語セット) ¥4,000

購入を希望される方は、情報科学センターで配布する BSD/OS サイトライセンス注文書に記入の上、情報科学センター事務室まで提出してください。

なお、貸し出しは従来どおりに行います。



§1. 停電に伴うシステムの一時停止について(戸畑)

7月27日(土), 28日(日)の停電に伴い, 戸畑キャンパスの研究システム, および教育システムを26日(金)17時より29日(月)12時まで一時停止します。

§2. 夏休み中の運用スケジュール変更について

戸畑センターのホセンA, ホセンB, デバック室は, 空調工事のために利用できなくなりましたので, 夏休み中に利用できる教室を変更します。

- ★利用できる期間 : 7月11日 ~ 8月30日
- ★利用できる教室 : ホセンC

また, 戸畑・飯塚ともに, 17時の閉館時から翌日9時の開館時まで, 教育システムを一時停止します。そのため, ネットワーク経由の利用も, センター開館時間内の9時から17時までとなります。

§3. システム保守に伴う休館のお知らせ

情報科学センターはシステム保守の為, 下記の期間, 戸畑・飯塚共に休館します。なお, この休館にともない, 8月9日(土)17時より8月19日(月)10時まで教育システム, 研究システムともにマシンを一時停止しますので, ネットワークによる利用もできません。

- 8月12日(月) ~ 8月16日(金)

§4. プリンタ用紙の利用制限について(再掲)

現システムでのプリンタ用紙の使用制限については, 先に ISC-News でお知らせしましたとおり, 一人当たり 300枚/1年 となっています。300枚を越えた方はプリントアウトができなくなります。ご注意ください。

§5. 端末演習室1, 2の利用について(飯塚)

端末講義室の電気工事による停電のため, 下記の期間中は端末演習室1, 端末演習室2共に利用できません。

- 7月25日(水) ~ 7月29日(月)

§6. Mathematica サイトライセンス公開について

Mathematica は物理学者の Wolfram が開発した, 世界的に有名な数学処理パッケージソフトです。以下のような用途に利用できます。

1. 電卓の代わり(数値計算) ... 数値演算が可能です。複素数も扱えます。
2. グラフィクス ... 数式を入力するだけで, その式をグラフで表示できます。3次元のグラフも可能です。数値データのグラフ表示も可能です。アニメーション表示も可能です。
3. 微積分の解 ... 数式で微分積分を解く事ができます。得られた結果を, FORTRAN や C のプログラムに変換することも可能です。
4. 代数方程式の解 ... 数式で代数方程式を解く事ができます。因数分解も可能です。得られた結果を, FORTRAN や C のプログラムに変換することも可能です。
5. 行列演算 ... 行列演算も可能です。
6. プログラミング ... プログラミングも可能です。簡単なプログラムで各種のシミュレーションを行ったり, 結果のグラフィクス表示が可能になります。

1996年度から, 情報科学センターが Mathematica のサイトライセンスを取得しました。以下の手続きを行なう事によって, 学内のコンピュータであれば, ユーザの出費なしで, Mathematica をインストールすることができます。

利用できるコンピュータの種類は,

- UNIX: SUN/Solaris, HP, NextStep, Dec, Sony NEWS(夏から)
- PC: Windows3.1, Windows95, Mac

などです。サイトライセンスによって手元のコンピュータなどに mathematica をインストールするためには以下の申請方法に従って利用申請し, 許可が出たらユーザ自身でインストールを行なってください。

申請方法

1. 教育機関サイトライセンス契約書(抜粋)を熟読してください。
ライセンス契約書(抜粋)は、
<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/mathematica/contract.txt>
に置いてあります。
ライセンス契約書全文は、情報科学センター戸畑飯塚両キャンパスに置いて
います。

2. サイトライセンスの契約を遵守できる場合は、以下の 1. から B. までの
項目を記入し、電子メールで
mathematica-sinsei-ml@tobata.isc.kyutech.ac.jp
まで提出して下さい。

なお、複数同時にインストールする場合にも、1 台につき 1 枚の申請書
を提出して下さい。

注意..1. 契約上、九州工業大学の備品番号が付いたコンピュータにしか
インストールすることはできません。

但し、備品番号が付く予定のコンピュータの場合は、注文伝票
の請求番号を

9.[コンピュータの備品番号]: 請求番号 _____
のように記入しておき、備品番号が決定した時点で、
氏名、利用許可番号、備品番号を mail で
mathematica-sinsei-ml@tobata.isc.kyutech.ac.jp
宛てに連絡してください。

2. 学外の人は利用することができません。

3. 電子メールで申請を行なった後、必要事項記入済みの申請書
(本申請書全文でも結構です)をプリントアウトして、署名捺印欄に、
署名捺印の上、戸畑か飯塚の情報科学センター事務室まで送付して下さい。

4. 利用を許可する場合は、電子メールで利用許可を送付します。

インストール

1. 利用が許可された場合は、
戸畑地区: 情報科学センター2階オペレータ室
飯塚地区: 情報科学センター2階プログラム相談室
に、すみやかに、メディアを取りにきて下さい。
2. メディアと一緒に、Wolfram Research Inc. の Mathematica ライセンス
契約書のコピーをお渡しします。この契約を遵守できる場合のみ、
インストールを行なって下さい。遵守できない場合はすみやかにメディア
を返却して下さい。
3. すみやかにインストールを行なった後、すみやかにメディアを返却して
下さい(原則として3日以内)。
4. インストール方法が良くわからない場合や、うまくインストールできな
い場合は、
mathematica-user-ml@tobata.isc.kyutech.ac.jp
にメールを出して問い合わせして下さい。
情報科学センター窓口では問い合わせを受け付けませんのでご注意下さい。

利用に関する質問などについて

1. 利用を許可したユーザは、電子メールアドレスを mailinglist
mathematica-user-ml@tobata.isc.kyutech.ac.jp
に登録します。このメーリングリストを使って、質問などを行なって下
さい。積極的に発言や回答を行なって頂けると幸いです。
直接 Wolfram Research, Inc. や代理店に問い合わせすることは
避けて下さい。
2. 直接 Wolfram Research, Inc. などへの問い合わせる必要が生じた場合
は、このメーリングリストに参加している登録ユーザ(全学で 5 人) が
行ないます。

----- 申請書-----

この申請書は
<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/mathematica/how2license.txt>
に置いてあります。
#

[The application to use the mathematica by the kyutech site license]

1.[氏名]:

2.[所属]:

3.[内線電話番号]:

4.[電子メールアドレス]:

以下の項目は、

教授:1, 助教授:2, 講師:3, 助手:4, 技官:5,
非常勤職員:6, 博士課程後期院生:7, 博士課程前期院生(修士):8,
学部生:9, 研究生:10, その他:11
#

のいずれかの数字をいれて下さい.

#

5.[職名/身分]:

6.[インストールするコンピュータの種類]:

7.[OS とバージョン]:

8.[ハードウェア構成]:

9.[コンピュータの備品番号]:

A.[コンピュータの設置場所]:

B.[サイトライセンスの契約を遵守しますか?(Yes or No)]:

#

以下は記入例です.

#

[The application to use the mathematica by the kyutech site license]

#

1.[氏名]: 山之上 卓

#

2.[所属]: 情報科学センター

#

3.[内線電話番号]: 3470

#

4.[電子メールアドレス]: yamanoue@isc.kyutech.ac.jp

#

5.[職名/身分]: 2

#

6.[インストールするコンピュータの種類]: IBM PC 互換機

#

7.[OS とバージョン]: WindowsNT 3.51

#

8.[ハードウェア構成]: Pentium, メモリ 32MB, ハードディスク 2GB

#

9.[コンピュータの備品番号]: 平成6年3月 B-10333

#

A.[コンピュータの設置場所]: 戸畑情報科学センター2階オペレータ室

#

B.[サイトライセンスの契約を遵守しますか?(Yes or No)]: Yes

#

九州工業大学情報科学センター殿

私は、別紙の「教育機関サイトライセンス契約」を遵守します。
また、Mathematica の利用および管理に関しては十分なる配慮をし、大学に
いかなる迷惑もかけないことと、万一大学に迷惑が及んだ際には、Mathematica
の利用を中止されても異義のないことを誓約いたします。

年 月 日

署名 印



九州工業大学情報科学センター

No.83 1996.7.4

§1. 公衆電話回線からの利用について(飯塚アクセスポイント)

7月8日(月)より、現在設置している機器を、新機種に変更します。これに伴い、利用方法が変わります。端末ソフトで自動ログインスクリプトなどを利用されている方は設定変更が必要になります。従来お使いのモデムは原則そのまままで利用できます。

なお、番号0948-29-7572 (あるいは内線7572)の回線(アナログ2400bps, デジタル9600bps)については、当分の間、これまでのまま利用できます。また、この移行作業のため、7月8日(月)の午前中はアクセスポイントの利用はできません。どうかご了承ください。

新ターミナルサーバ : Shiva 社 LanRover/E

モデム : Microcom V.34 ES II
通信速度 : 300 ~ 28,800 bps
電話番号(3回線) : 0948-29-7579(代表)

ISDN TA : NEC AtermIT45
通信速度 : 最高 34800bps (V.110)
電話番号(1回線) : 0948-26-1500 subaddress 4030

ログイン名 : 教育システムと同一 ID
パスワード : 教育システムと同一パスワード
通信条件 : 8bit/non-parity/1 stop bit

利用手順(例):

```
atdt0948-29-7579 <---- ダイヤルする  
CARRIER 24000
```

PROTOCOL: LAP-M

COMPRESSION: V.42BIS

```
CONNECT 57600  
<--- リターンキーを2回
```

```
@ Userid:センターの ID <--- センタ教育システムでの ID
```

```
Password? xxxx <----センタ教育システムでのパスワード
```

```
Shiva LanRover/8E, Version 4.0.1 96/03/20  
LanRover@IIZUKA> telnet 131.206.129.26 <--- 教育用WS (tsubame)を利用する場合  
(アドレスを直接指定する必要があります)
```

```
Trying...  
Connected.  
Escape character is '^'].
```

NEWS-OS Release 6.1.1 (tsubame)

login:

[利用を終える時]

```
tsubame% logout <---ホストをログアウトする
```

```
LanRover@IIZUKA> quit
```

Disconnecting and resetting line.

NO CARRIER

OK

§2. ダイヤルアップ IP 接続サービスについて(飯塚アクセスポイント)

PPP プロトコルを用いたダイヤルアップ IP 接続サービスを開始します。本サービスにより、自宅からの IP 接続により、自宅からの WWW などの利用が可能となります。但し、IP 到達性は、情報科学センター教育システムに準じます(1996/7/8 現在、九工大内のみ、直接学外へのIPレベルの通信は出来ません)。

電話番号 : 0948-29-7579(アナログ)
0948-26-1500 subaddress 4030 (ISDN)
自ホスト IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ゲートウェイ IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ネームサーバアドレス : 131.206.128.10
ネームサーバホスト名 : nozomi.edu.isc.kyutech.ac.jp
ドメイン名 : edu.isc.kyutech.ac.jp
ユーザ認証方式 : PAP
認証 ID : 教育システムと同一 ID
認証パスワード : 教育システムと同一パスワード

個々のソフトの設定は, 各々の利用ソフトのマニュアルに従ってください.



九州工業大学情報科学センター

§1. 公衆電話回線からの利用について(戸畑アクセスポイント)

7月1日(月)より、現在設置している機器を、新機種に変更します。これに伴い、利用方法が変わります。自動ログインスクリプトなどを利用されている方はご注意ください。なお、1991年から行っていましたが、端末ソフト(kermit)の配布サービスは打ち切ります。

新ターミナルサーバ: Shiva 社 LanRover/E
モデム : Microcom V.34 ES II
通信速度 : 300 ~ 28,800 bps
電話番号(6回線) : 093-884-3477(代表)
ログイン名 : 教育システムと同一 ID
パスワード : 教育システムと同一パスワード
通信条件 : 8bit/non-parity/1 stop bit

※注:電話回線が全て使用中でも、ビジートーン(話中音)は出しません。
センターホストを利用する場合の漢字コードは、EUC です。

利用例:

atdt093-884-3477 <---- ダイヤルする
CARRIER 24000

PROTOCOL: LAP-M

COMPRESSION: V.42BIS

CONNECT 115200
<--- リターンキーを2回

@ Userid:センターの ID <--- センタ教育システムでの ID

Password? xxxx <----センタ教育システムでのパスワード

Shiva LanRover/8E, Version 3.5.2 95/12/18
LanRoverE> telnet 150.69.11.28 <---- 教育用 WS を利用する場合
LanRoverE> telnet 150.69.5.10 <---- 研究用 WS を利用する場合

Trying...
Connected.
Escape character is '^'.

NEWS-OS Release 6.1.1 (tanpopo)

login:

[利用を終える時]

LanRoverE> quit

Disconnecting and resetting line.

NO CARRY
OK

§2. ダイヤルアップ IP 接続サービスについて

PPP プロトコルを用いたダイヤルアップ IP 接続サービスを開始します。本サービスにより、自宅からの IP 接続により、自宅からの WWW などの利用が可能となります。但し、IP 到達性は、情報科学センター教育システムに準じます(1996/7/1 現在、九工大内のみ、直接学外へのアクセスは出来ません)。

電話番号 : 093-884-3477
自ホスト IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ゲートウェイ IP アドレス : PPP サーバが割り当てます
ネームサーバアドレス : 150.69.2.11
ネームサーバホスト名 : ns.tobata.isc.kyutech.ac.jp
ドメイン名 : edu.isc.kyutech.ac.jp
ユーザ認証方式 : PAP
認証 ID : 教育システムと同一 ID
認証パスワード : 教育システムと同一パスワード

個々のソフトの設定は、各々の利用ソフトのマニュアルに従ってください。

§3. 旧センター利用用公衆電話回線(882-7085, 7086)の廃止について

新電話回線開設により、旧電話回線(882-7085, 7086)は 7 月末日をもって廃止します。

§4. 夏休み中のセンター運用スケジュールについて

夏休み中のセンターの運用スケジュールは、以下のとおりです。

★戸畑キャンパス

利用できる教室：ホセンA, ホセンB, デバック室

利用できる期間：7月11日(木)～8月30日(金)

利用できる時間：9:00～17:00

★飯塚キャンパス

利用できる教室：AV講義室, AV演習室, 端末演習室1, 端末演習室2

利用できる期間：7月16日(火)～9月6日(金)

利用できる時間：9:00～17:00

なお、飯塚センター3Fの端末講義室は工事の為、7月16日(火)～10月6日(日)まで利用できません。



九州工業大学情報科学センター

§1. BSD/OS 2.1 の貸し出しについて

サイトライセンスを取得し、公開していました BSD/OS の Ver. 2.1 アップデートキットが届きました。貸し出し希望の方は、両キャンパス情報科学センター2階、プログラム相談室までお越しください。

§2. パソコン端末のユーザ登録について

情報科学センターのパソコン端末を初めて利用する場合には、センターのX端末でのユーザ登録が必要です。なお、図書館のCD-ROM検索サービス(詳しくは図書館から発行されるニュースを参照してください)を利用する場合にも下記のユーザ登録が必要です。

ユーザ登録の方法は、以下のとおりです。

X端末にログインし、

```
telnet spica.edu.isc.kyutech.ac.jp
```

と入力して spica に入ります。
次に、IDが p96000mm の場合、

```
makent p96000mm
```

と入力します。次にUNIXのパスワードを聞いてきますので入力します。

```
Create NT user
```

できれば、登録完了です。



§1. 戸畑研究用端末室公開について

戸畑情報科学センター2階の研究用端末室の X 端末(8 台) が利用できるようになりました。研究システムユーザが利用できます。基本的な利用方法は、教育システムの場合と同じです。ログインすると、新研究システムのフロントエンドプロセッサに入ります。

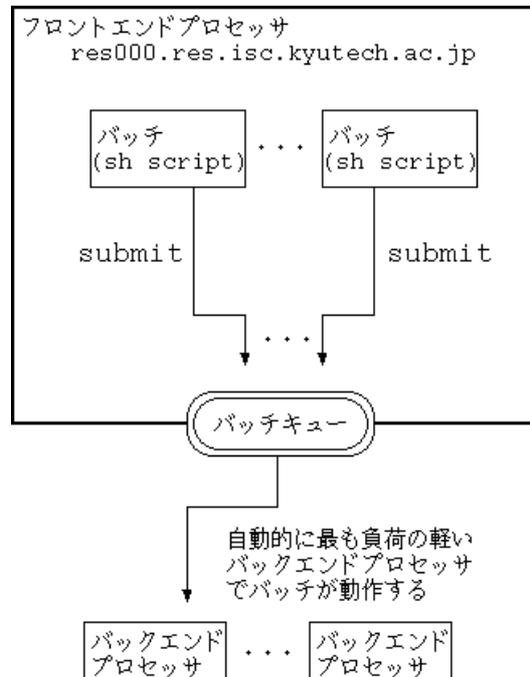
なお、本端末室以外でもネットワーク経由で新研究システムを使うことができます。飯塚の研究システムユーザもお近くの端末から新研究システムをご利用ください。フロントエンドプロセッサのアドレスは、

res000.res.isc.kyutech.ac.jp

です。

§2. 新研究システムバックエンドプロセッサ及び submit コマンド公開について

新研究システムのバックエンドプロセッサ 8 台が利用できるようになりました。CPU の利用効率を高めるため、バックエンドプロセッサはバッチジョブ専用になっています。login はできません。バックエンドプロセッサを利用するにはフロントエンドプロセッサ res000.res.isc.kyutech.ac.jp で submit コマンドを実行してください。submit コマンドはカナダ Platform Computing Corporation の LSF (ジョブ制御ソフト) を利用しています。投入されたバッチジョブは、実行開始時に最も負荷の軽いバックエンドプロセッサで実行されます。投入されたジョブの状態を確認するためには bjobs コマンドが利用できます。



バッチとはコンピュータを操作するための一連のコマンドを記述したものです。本システムのバッチは UNIX のシェルスクリプトで記述します。例えばユーザが

```
% rm ouput
% jikken-1 < input >output &
```

のようにプログラムを実行していた場合、これをバッチにするためには、

```
#!/bin/sh
rm output
jikken-1 < input >output
```

のようなシェルスクリプトを記述します。シェルスクリプトを記述したファイルは「chmod 755 ファイル名」などを行って、実行可能な状態にしておく必要があります。

バッチジョブには以下のようなクラスがあります。実行するプログラムに合わせてクラスを選んでください。なお、クラス SA と PA は他のクラスに比べて優先的に実行されるようになっています。

クラス名	CPU制限時間(分)	メモリ量
SA 逐次	10分	16MB
SB 逐次	60分	32MB
SC 逐次	360分(6時間)	64MB
SD 逐次	1440分(24時間)	96MB

PA 並列(PVM) 10分 16MB/CPU
PB 並列(PVM) 60分 32MB/CPU
PC 並列(PVM) 360分(6時間) 64MB/CPU
PD 並列(PVM) 1440分(24時間) 96MB/CPU
E 要登録 登録値 登録値

クラス PA, PB, PC, PD は PVM を使った並列プログラムのためのクラスです。PVM は、コンピュータネットワークで並列計算を行うためのソフトウェアで、C や FORTRAN のプログラムにメッセージパッシングを行う関数などを埋め込んで利用します。PVM については

<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/staff/yamanoue/lectures/pvm.9511/>

などをご覧ください。

クラス E は、クラス SD や PD の制限値を越えるようなジョブのためのクラスです。このクラスを利用するためにはセンター事務室に置いてある申請書に記入して提出してください。

submitコマンドの使い方:

submit [オプション] <>

オプションが指定されない場合は -SA(クラス SA)が仮定されます。

オプションは以下のどれかで、英小文字も使えます。

-SA ... クラス SA のジョブを投入します。
-SB ... クラス SB のジョブを投入します。
-SC ... クラス SC のジョブを投入します。
-SD ... クラス SD のジョブを投入します。
-PA n ... クラス PA のジョブを投入します。
n は使用するプロセッサ数で 4 から 8 まで。
-PB n ... クラス PB のジョブを投入します。
n は使用するプロセッサ数で 4 から 8 まで。
-PC n ... クラス PC のジョブを投入します。
n は使用するプロセッサ数で 4 から 8 まで。
-PD n ... クラス PD のジョブを投入します。
n は使用するプロセッサ数で 4 から 8 まで。

使用例

```
% cat batch.sh
#!/bin/sh
rm output
myobj [ ] output
% submit -SB batch.sh
```

```
% cat pvmpai
#!/bin/sh
rm output
pai_master 4 100000000 >output
% submit -PA 5 pvmpai
```

bjobs コマンドの使い方

bjobs [オプション]

bjobs のオプションの詳しい説明は、man bjobs で得られます。

使用例

```
% bjobs
JOBID USER STAT QUEUE FROM_HOST EXEC_HOST JOB_NAME SUB
599 yamanoue RUN class-sx res000 res001.res.sh2-news May 2
600 yamanoue RUN class-sx res000 res003.res.sh2-news May 2
601 yamanoue RUN class-sx res000 res004.res.sh2-news May 2
602 yamanoue RUN class-sx res000 res002.res.sh2-news May 2
603 yamanoue PEND class-pa res000 *ob subsh1 May 2
```

```
% bjobs -a
JOBID USER STAT QUEUE FROM_HOST EXEC_HOST JOB_NAME SUB
603 yamanoue RUN class-pa res000 res006.res.*ob subsh1 May 2
res008.res.isc.kyutech.ac.jp
res005.res.isc.kyutech.ac.jp
res009.res.isc.kyutech.ac.jp
res001.res.isc.kyutech.ac.jp
599 yamanoue DONE class-sx res000 res001.res.sh2-news May 2
600 yamanoue DONE class-sx res000 res003.res.sh2-news May 2
601 yamanoue DONE class-sx res000 res004.res.sh2-news May 2
602 yamanoue DONE class-sx res000 res002.res.sh2-news May 2
```

情報科学センターが提供する標準的な環境で submit や bjobs コマンドを利用する場合は、環境設定をする必要は、ありません。そうでない場合には、環境変数 PATH に /usr/local/lsf/bin を、環境変数 MANPATH に /usr/local/lsf/man をそれぞれ追加してください。

§3. 新研究システムフロントエンドプロセッサ res000 のレポートについて

フロントエンドプロセッサ res000.res.isc.kyutech.ac.jp は、エディタ、コンパイラや下記の AVS, Workbench などを快適に利用できるようにするため、毎朝 7 時にレポートします。利用者が作成するプログラムは出来る限り、submit コマンドを利用して、バックエンドプロセッサで実行してください。フ

ロントエンドプロセッサがリポートされても、LSF のフォールトトレランス機能により、実行中のジョブや、バッチキューに溜っているジョブには影響ありません。

§4. Workbenchの公開について

新研究システムのフロントエンドプロセッサでは、Fortran プログラム、C 言語プログラムの開発・実行支援環境 workbench を導入しました。workbench は、プログラムの作成、コンパイル、実行およびデバッグ、サンブラ、ヘルプなどのツールが統合環境として利用できます。また、Makefile の新規作成および実行、各機能を使用するための環境設定も行うことができます。本環境の GUI は大変優れており、簡単に利用できます。例えば、デバッグxfdbは、dbx 等のデバッグにくらべ、ブレークポイントの設定がマウスで行える等、操作性が向上しています。

1.環境設定

情報科学センターが提供する標準的な環境では、環境設定をする必要はありません。そうでない場合には、環境変数PATHに/usr/ext/FF90/binを、環境変数LD_LIBRARY_PATHに/usr/ext/FF90/libを、環境変数MANPATHに/usr/ext/FF90/manをそれぞれ追加してください。

2.起動方法

Fortran 90/C Workbench は、Workbench マネージャ、デバッグ、サンブラ、カバレッジ、ヘルプ、及びプロセスモニタの5つのツールから構成されています。各ツールは、Fortran と C プログラムにおいて利用できます。各ツールとコマンド名を以下に示します。

ツール名	コマンド名
workbench マネージャ	workbench
デバッグ	xfdb
サンブラ	xsamp
プロセスモニタ	xmoni
ヘルプ	xhelp
カバレッジ	xcovrage

・戸畑情報科学センター2階の研究用端末室から利用する場合、そのまま上のコマンドを実行することによって、起動します。

その他の場所のX端末から利用する場合、
% xhost +
で遠隔地のウィンドウを手元の端末で表示できるようにします。
% echo \$DISPLAY
等で手元の端末のホスト名または IP アドレスを調べます。
% telnet res000.res.isc.kyutech.ac.jp
でres000 にログインします。
% setenv DISPLAY (手元のX端末名):0.0
と入力します。
% workbench
のように上のコマンドを実行します。

・飯塚地区の手元の端末から使う場合でも、10 台まででしたら、同時にスムーズに動作することを確認しています。

・マニュアルは戸畑研究用端末室と飯塚プログラム相談室に置いています。

§5. Fortran 90 の公開について

新研究システムでは、Fortran 90 コンパイラが利用できるようになりました。Fortran 90 は Fortran 77 の機能をすべて含んでいる他、利用者定義の構造データ型、モジュール、配列演算などが新しく使えるようになっています。コンパイラのコマンド名は、f90とf90です。なお、両者に違いはありません。詳細は man を使って調べてください。今後 FORTRAN 77 はFORTRAN 90 に移行することが決定していますので、出来る限り FORTRAN 90 を使われることをお勧めします。

§6. SSL II(Scientific Subroutine Library II) の公開について

SSL II は、線形方程式や微分方程式などの数学的問題を解く、約230種類のサブルーチンからなる汎用数値計算ライブラリです。九州大学大型計算機センターで利用されている SSL II と同じものです。各サブルーチンは、FORTRAN で記述されており、利用者プログラムからCALL文で使用できます。SSL II は、標準機能と拡張機能より構成されています。標準機能は、広範囲な科学技術計算を支援することを目的としたものです。一方、拡張機能は、大規模な科学技術計算を高速で処理することを狙ったものです。本ライブラリを利用するには、以下の例のようにコンパイル時に、ldオプションとして-lfssl2をつけてください。

例 f90 ex.f90 -lfssl2

関数一覧は、man ssl2で調べてください。各関数の詳細にも同様にmanを使って調べてください。

以下に、1次元有限区間積分を行うライブラリaqc8のプログラム例と実行例を示します。

プログラム例

```
program ex
common p
external fun
a = -1.0
epsa = 1.0E-5
epsr = 1.0E-5
nmin = 15
nmax = 511
do 10 i=1,10
p = float(i)
call aqc8(a,b,fun,epsa,epsr,nmin,nmax,s,err,n,icon)
10 write(6,600) p,icon,s,err,n
stop
600 format(1h ,30x,'p=',f6.1,5x,'icon=',i5,5x,'s=',e15.7,5x,
* 'err=',e15.7,5x,'n=',i5)
end
function fun(X)
common p
fun=cos(p*x)
return
end
```

実行結果

```
% f90 ex.f90 -lfssl2
% a.out
p= 1.0 icon= 0 s= 0.8414710e+00 err= 0.5960189e-07 n= 15
p= 2.0 icon= 0 s= 0.4546487e+00 err= 0.5959364e-07 n= 15
p= 3.0 icon= 0 s= 0.4703999e-01 err= 0.5957989e-07 n= 15
p= 4.0 icon= 0 s= -0.1892006e+00 err= 0.5957701e-07 n= 15
p= 5.0 icon= 0 s= -0.1917848e+00 err= 0.5953589e-07 n= 15
p= 6.0 icon= 0 s= -0.4656921e-01 err= 0.5950564e-07 n= 15
p= 7.0 icon= 0 s= 0.9385516e-01 err= 0.1589457e-06 n= 15
p= 8.0 icon= 0 s= 0.1236698e+00 err= 0.5404156e-06 n= 15
p= 9.0 icon= 0 s= 0.4579089e-01 err= 0.6621960e-06 n= 15
p= 10.0 icon= 0 s= -0.5440208e-01 err= 0.2922498e-05 n= 15
```

§7. AVS/Expressの公開について

流体解析や有限要素法などの科学技術計算で得られた数値情報を可視化するソフトウェアであるAVS/Expressを、新研究システムフロントエンドプロセッサ res000.res.isc.kyutech.ac.jp で利用出来るようになりました。

AVS では、オブジェクトと呼ばれる各種機能を表す矩形を、メニューからマウスでクリックして配置し、オブジェクト間を、データの流れを表すデータフローで結ぶことによって、ユーザの希望に合った様々なアプリケーションの開発を視覚的に行うことができます。

AVS は九州大学大型計算機センターや京都大学大型計算機センターなどでも、標準的な可視化ツールとして利用されています。

・戸畑情報科学センター2階の研究用端末室から利用する場合、
% express
で、起動します。

その他の場所のX端末から利用する場合、
% xhost +
で遠隔地のウィンドウを手元の端末で表示できるようにします。
% echo \$DISPLAY
等で手元の端末のホスト名または IP アドレスを調べます。
% telnet res000.res.isc.kyutech.ac.jp
で res000 にログインします。
% setenv DISPLAY (手元のX端末名):0.0
と入力します。
% express
で、AVS express を起動します。

・現在飯塚から新研究システムの AVS/Express を利用しようとすると、ネットワークの負荷が重いので、快適に使うことができません。飯塚地区の研究システムフロントエンドプロセッサを現在準備中です。この上で AVS/Express が利用可能になる予定ですので、しばらくお待ちください。

・情報科学センターの標準利用環境以外の設定の人は、express と入力しても起動しない場合があります。その時は、
% setenv XP_PATH /usr/ext/express
% set path= (/usr/ext/express/bin/news \$path)
と入力してから、起動コマンド(express)を入力してください。

AVS についてのより詳しい説明は、

・<http://www.tobata.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/avs/express/>
・<http://iac.ncsc.org/>
・<http://www.kudpc.kyoto-u.ac.jp/DPC/Services/AVS/>

などや、情報科学センター2階に置いてあるマニュアルを御覧ください。

§1. 研究システム運用再開と登録申請開始について

新研究システムの一部運用と、新規ユーザ研究登録申請を4月26日(金)から開始する予定です。情報科学センター事務室で配布する登録申請書に記入の上、情報科学センター事務室に提出してください。

なお、研究システムを新規に登録するためには、教育システムにIDが登録されている必要がありますのでご注意ください。研究システムのIDと教育システムのIDは同じものになります。

研究システムの利用に関しても、WWWでの利用の手引、ルートメニューの中の「ISC User's Guide」をご利用ください。

なお、新研究システムのログイン可能なWS(フロントエンドプロセッサ)は、

★res000.res.isc.kyutech.ac.jp(戸畑)

です。その他のWSとバッチ投入の機能については、5月中旬に運用開始の予定です。



九州工業大学情報科学センター

§1. 授業担当者対象先行公開の機器の利用終了について

授業担当者を対象に先行公開していましたマシン(asagao)の利用は、4月10日(水)の教育システム運用開始をうけ、4月10日(水)で終了します。

§2. 研究システムの正式運用開始日程の変更について

研究システムとして導入予定のWSの初期不良のため、先にお知らせしました研究システムの運用開始が、予定の4月10日より遅れる事になりました。ユーザの方には大変御迷惑をおかけしますが、運用開始の日程が決まりましたお知らせ致します。この間研究システムで利用できるのは、以下のマシンです。

- ・hotoke, suzuna (Super COMPstation)
- ・res1 ~ 5 (JS20/M61)

なお、教育システムの22時から翌朝 7時までの利用は可能です。

§3. 旧システムからの移行ガイドについて

新システムへの移行に伴い、2年生以上は利用環境が昨年までと若干異なります。旧システムからの移行ガイドをセンターの教育システム環境ホームページに掲載していますので、ルートメニューの中の『WWW Browser(Netscape)』を開き、『旧システムからの移行について』を参照してください。なお、URLは以下の通りです。

飯塚 <http://www.iizuka.edu.isc.kyutech.ac.jp/ikou/>
戸畑 <http://www.tobata.edu.isc.kyutech.ac.jp/ikou/>

§4. 端末演習室2の公開について

情報科学センターの技術セミナー用の教室である端末演習室2(飯塚キャンパス)を一般ユーザに常時公開とします。これは、ユーザにWindows/NTの環境を提供すること、個人が保有するパソコンとのデータのやり取りを簡単に行えることを考慮した結果です。

なお、演習室2のパソコンは技術セミナーを最優先としますので、実験や演習などの講義で利用される場合はご注意ください(空いている時間は利用することができます)。

以下の表は、端末演習室2の環境です。

パソコン端末 22台
教官用パソコン端末 1台
教官用X端末 1台
OS Windows-NT3.51
C言語 Visual C++4.0
プレゼンソフト Office95(powerpoint)
日本語入力 windows標準を使用
ワープロソフト Office95(word)
表計算ソフト Office95(excel)
データベースソフト Office95(access), 平成9年よりサポート

§5. メールングリスト自動生成システムについて

情報科学センターでは、電子メールを使って情報交換や議論を行ったり、情報化社会における管理者能力の育成を目的として、メールングリストの自動生成システムを開発しました。運用開始は、4月10日(水)です。

メールングリストの作成申し込みの方法は2通りあり、WWW からと電子メールからの申し込みが可能です。

申し込みの際には、代表者氏名、学生番号、ログイン名、学科名、メールングリスト日本語名称、メールングリスト名、メールングリストの目的を入力する必要があります。

申し込みに関する詳しい説明は、

飯塚 <http://www.iizuka.edu.isc.kyutech.ac.jp/ mailing/ index.html>
戸畑 <http://www.tobata.edu.isc.kyutech.ac.jp/ mailing/ index.html>

を参照して下さい。

§6. 情報科学センター利用細則の改訂について

新システム導入にともない、情報科学センター利用細則が改訂されました。以下は、使用制限と、研究システムの利用負担金の新旧一覧表です。

課金の運用についてはしばらくの間試行期間とし、課金を行いません。特にCPU課金につきましては、十分な試行期間を用意する予定です。

○旧システム使用制限

利用区分 ファイル容量 プリンタ用紙使用枚数

授業利用 5MB 30枚/1回

学習利用 3MB 30枚/1回

教育研究
支援利用 5MB 30枚/1回

研究利用
MELCOM 12MB 100枚/1回
WS 200MB ---

●新システム使用制限

利用区分 ファイル容量 プリンタ用紙使用枚数

授業利用 15MB 300枚/1年

学習利用 15MB 300枚/1年

教育研究
支援利用 15MB 300枚/1年

研究利用
MELCOM 12MB 100枚/1回
WS 200MB ---

☆研究利用に関する*旧*利用負担金

負担金区分

基本負担金
支払責任者登録 10,000円(年額)
課題登録 10,000円(年額)

ファイル負担金
MELCOM 無料
WS, alliant 5Mを越えるものに対して1(円/MB×日)

一時ファイル負担金 なし

CPU負担金 なし

プリンタ用紙負担金
MELCOM LP 10,000枚を越えるものに対して3円/枚
ポストスクリプトプリンタ 1,000枚を越えるものに対して7円/枚
カラープリンタ 300円/枚
パーサティックプリンタ用紙 利用者負担
XYプロッタ用紙 利用者負担

★研究利用に関する*新*利用負担金

負担金区分

基本負担金
支払責任者登録 廃止
課題登録 10,000円(年額)

ファイル負担金
MELCOM 無料
WS 15Mを越えるものに対して0.2(円/MB×日)
×経年指数

一時ファイル負担金 $1/3 \times 0.2(\text{円/MB} \times \text{日}) \times \text{経年指数}$

CPU負担金

新システム(NEWS) 6時間/週までの利用を越えるCPU時間に対して0.025(円/秒)×経年指数
従来システム 無料
教育システムの夜間,休日利用 無料

プリンタ用紙負担金

MELCOM LP 10,000枚を越えるものに対して3円/枚
ポストスクリプトプリンタ 1,000枚を越えるものに対して7円/枚
カラープリンタ 300円/枚
パーサティックプリンタ用紙 利用者負担
XYプロッタ用紙 利用者負担

y-8

※ 経年指数 = 0.8 ただし, y は年(平成) したがって平成 8 年は 1.

§1. 講義用ID, TA用IDの登録申請及び教育用IDの登録再開について

講義用ID, TA用IDの登録申請を, 3月21日(木)より開始します。情報科学センター事務室で配布します登録申請書に必要な事項を記入の上, 情報科学センター事務室まで提出してください。その際, 登録手順書をお渡ししますので手順書にそって各自で登録してください。

教育用ID(職員用ID, 研究生・聴講生用ID)の登録についても3月25日(月)より再開します。この登録については申請は必要ありません。登録の方法は, 情報科学センター事務室及び, 情報科学センター2階プログラム相談室で配布する登録手順書にしたがって各自で登録してください。

§2. 大学院生用のID配布について

先に ISC-News でお知らせしましたように, 平成8年度より大学院生のIDは, 学部学生と同様に, ユーザ名をセンターが一意に与える方法に変更します。平成8年度入学の大学院生と, 情報科学センターでユーザ登録をしていない大学院生のユーザ名は, センター事務室において 4月8日以降に配布を開始する予定です。なお, 現在すでにユーザ登録を行っている大学院生のユーザ名は引き続き利用できます。

§3. 授業担当者対象講習会について

平成8年度の授業担当者を対象とした, 情報科学センター新システムの講習会を, 下記の通り行います。授業担当の方は, ぜひご出席ください。

<<戸畑キャンパス>>
・日時:3月26日(火) 13:00 ~ 14:30
・場所:ホセンC

<<飯塚キャンパス>>
・日時:3月27日(水) 13:00 ~ 14:30
・場所:AV講義室

§4. 新メールアドレスについて

平成8年度のセンター新システムの正式運用開始とともに, メールアドレスを変更します。新しいアドレスは,

戸畑キャンパス: @tobata.isc.kyutech.ac.jp

飯塚キャンパス: @iizuka.isc.kyutech.ac.jp

です。教育システム及び, 研究システムの旧アドレス (@post.isci(t).kyutech.ac.jp, @hakobera.isct.kyutech.ac.jp)は当分の間使えます。

§5. Mathematica のサイトライセンスについて

Mathematica の使用に当たって, Wolfram Research,Inc.から技術サポートの提供を受けるため, 戸畑キャンパスに2名, 飯塚キャンパスに2名, 情報科学センター1名の登録メンバを指定し, Mathematica の使用に関し質問がある時は, 上記の5名の登録メンバを通してのみ Wolfram Research,Inc.にコンタクトし, 必要な技術サポートを受けられるものとされています。

今回, 戸畑・飯塚両キャンパス2名ずつの登録メンバを募集します。登録メンバを希望される方は, 3月27日(水)までに下記のアドレスへメールをお願いします。

mathematica@isc.kyutech.ac.jp

§6. 新システムの正式運用開始について

2月中旬以降より始まった機種更新作業により, 新たに導入されたシステムの正式運用を4月10日(水)より開始します。利用に関しては, 端末にログインし, ルートメニューの中にある WWW での利用の手引「ISC-guide」を参照してください。この手引の URL は, 以下のとおりです。

○センター利用の手引飯塚編
<http://www.iizuka.edu.isc.kyutech.ac.jp/tebiki/>

○センター利用の手引戸畑編
<http://www.tobata.edu.isc.kyutech.ac.jp/tebiki/>

新教育システムのホスト名は以下のとおりです。

戸畑キャンパス: ayame, suzuran, sumire, yuri, kikyoo, akane, rengo,
tanpopo

飯塚キャンパス: raicho, kari, taka, tsuru, sagi, tsubame, hato,

§7. 研究システムの正式運用再開と登録申請開始について

研究システムの正式運用と、研究登録申請開始を4月10日(水)から始める予定です。情報科学センター事務室の登録手順書にしたがって各自で登録してください。

平成8年度から研究ユーザは、1人1IDとなります。現在複数のIDをお持ちの方は、IDを一つにしぼって頂きます。

研究システムの利用に関しても、WWWでの利用の手引、ルートメニューの中の「ISC-guide」をご利用ください。

○センター利用の手引研究システム編

<http://www.tobata.edu.isc.kyutech.ac.jp/res-tebiki/>

なお、新研究システムのログイン可能なWS(フロントエンドプロセッサ)は

★res000.res.isc.kyutech.ac.jp(戸畑)

★res100.res.isc.kyutech.ac.jp(飯塚)

の予定です。この他にも直接ログインする事は出来ませんが、フロントエンドプロセッサからバッチを投入できるWSは以下のとおりです。

- ・res001
- ・res002
- ・res003
- ・res004
- ・res005
- ・res006
- ・res007
- ・res008
- ・res009



§1. 機種更新作業に伴うセンター運用スケジュールについて

★教育システム

かねてからお知らせしていましたように、機種更新作業のため、2月 17日 でセンターを閉館します。そのため、情報科学センターの講義室、演習室等での利用はできません。その後 1 週間程度はネットワーク経由による教育システムの利用はできる予定ですが、作業の経過によってスケジュールが多少前後しますので、詳細な日程等は、ネットニュースおよびセンターの掲示によりお知らせ致します。

★研究システム

研究システムのセンター外からの利用については、できるだけ、停止時間が短くなるよう配慮しますが、正式運用ではありませんので、作業中に予期せず支障をきたすことがあるかも知れません。御了承ください。

研究システムでこの間利用できるのは、hotoke, suzuna, res1 ~ 5 です。

また、ワークステーションの入れ換え等を行う場合、ログインメッセージなどで事前にお知らせする予定です。

§2. 機種更新に伴うセンター教育用IDの登録停止について

機種更新、現システムの撤去にともない、教育用ID(職員用、講義用、大学院生用、TA用)の新規登録を 2月 17日より停止致します。そのため、2月 17日以降、あらたに登録をすることはできません。なお、新システムに移行してからの登録方法等については改めてお知らせします。

§3. 講義用ID, TA用IDの廃止について

現在使用されている講義用ID, およびTA用IDを現システムの撤去と共に廃止します。来年度講義用ID, TA用IDを必要とされる方の申請の受け付けに関しては、改めて詳しくお知らせします。例年のような継続の取り扱いは致しませんのでご注意ください。

必要なファイルのバックアップについては、各自で取って頂きますようお願い致します。

なお、両キャンパス2Fプログラム相談室に設置している、ダウンロード用パソコンも利用できます。利用できるフロッピーディスクは、飯塚が 3.5inch 2DD, 2HD(1.44M, 1.2M) 及び 5inch 2HC, 2DD, 戸畑が PC-98用の 3.5inch 及び、5inch です。

§4. /edu のファイルの移行について

教育システムの授業担当者用ディレクトリ /edu に入っているファイルは、新システム(NEWS)にそのままコピーします。sparc 用のバイナリー形式のプログラム等は、そのままでは動作しません。必要に応じて移植等の作業をお願いします。

§5. 大学院生のユーザ登録の変更について

現在、センターの教育システムを大学院生が利用したい場合には、必要に応じて各個人で登録してもらう方法を取っていました。この方法では、ユーザは任意のユーザ名称で登録できるようになっていましたが、平成 8 年度以降、大学院生の登録者が増加することが予想されます。従って、大学院生のユーザ登録に関しては、学部学生と同じようなユーザ名をセンターが一意に与える方法(固定登録)に変更します。

なお、現在すでにユーザ登録を行っている大学院生のユーザ名は引続き利用できる予定です。



§1. 年末年始のサービス時間の変更について

情報科学センターの年末年始のサービス業務については、以下のとおりです。

★12月25日, 26日に, 利用できる講義室

- ・戸畑キャンパス デバック室 9:00 ~ 17:00
- ・飯塚キャンパス AV講義室 9:00 ~ 17:00

★12月27日 ~ 1月7日

- ・戸畑キャンパス サービス業務停止
- ・飯塚キャンパス サービス業務停止

★1月8日 ~

- ・戸畑キャンパス 通常どおりの運用
- ・飯塚キャンパス 通常どおりの運用

また, 年末年始のサービス業務停止期間中は, 原則として教育用計算機システムの運用を停止します。ただし, 研究用計算機システムは障害が発生しない限り, センター外からのネットワーク経由の利用が可能です。

§2. 研究システムの一部ホストの定期リブートについて

研究システムのホストのうち nazuna[150.69.5.3], res5[150.69.5.25] を, 短期ジョブ及び, TSS 利用優先ホストにいたします。この為, 一日一回午前 8:00 にリブートを行います。このリブート時に実行されているジョブは, 全て強制終了しますので, お気をつけください。この定期リブートは, 12月25日(月) より開始いたします。

§3. 機種更新作業に伴うセンター運用スケジュールについて

平成8年4月の機種更新に向け, 現システムの撤去作業等のため, 2月中旬頃より段階的にセンターのシステムが利用できなくなります。このことに関しての詳しいスケジュール等は決まりしだいお知らせします。

§4. 大学入試センター試験中の閉館について(戸畑)

以下の期日は, 大学入試センター試験のため, 情報科学センター(戸畑キャンパス)は閉館します。ただし, センター外からのネットワーク経由の利用は可能です。

- ・平成 8年 1月13日(土曜日)



§1. 工大祭期間中のセンターの閉館について

工大祭期間中、センター教育システムの計算サービスを一時停止します。これに伴いセンターを閉館しますが、ネットワークによる研究システムの利用は可能です。以下の期間は終日閉館です。

- ★ 戸畑キャンパス 11月24日(金), 25日(土)
- ★ 飯塚キャンパス 11月24日(金)

§2. 次期システムの説明及び、並列計算講習会の開催について

情報科学センターのコンピュータシステムとして1996年度から新しくSONY NEWS ワークステーションを中心とするシステムが導入されることとなりました。新システムの紹介と今後の利用形態などに関する講演と講習の会を下記要領にて開催いたします。詳しくは別紙にてお知らせします。

- ・1995年11月27日(月) 13:00~17:00
情報工学部 2201講義室,
情報科学センター 飯塚キャンパス 1F AV講義室
- ・1995年11月28日(火) 13:00~17:00
情報科学センター 戸畑キャンパス 1F ホセン A, C



§1. センター次期システムの先行公開について(教官のみ)

ISC NEWS前号にてお知らせしましたが、平成8年3月よりSONY NEWSを中心としたシステムにリプレイスされます。このシステムの特長及び詳細については11月発行の広報No.8に紹介されます。情報科学センターでは、現存するシステムから円滑に移行できるよう準備を進めております。

そこで、講義を担当される先生方(現在、教育システムに講義登録されている教官及びTA)で現在使用しているツールの動作確認等をしたいという方に先行公開します。

現時点での先行公開機の利用者環境は、ほぼ工場出荷時の設定のままであり、来春のシステム運用開始時点では異なったものになることをご理解ください。また、システム開発作業の都合上、しばしば環境が改変されることがあります。

先行公開を希望される方は、情報科学センター2階プログラム相談室(飯塚、戸畑共)に来室してください。ただし、10:00から16:00の間に限らせて頂きます。また、今回は講義用IDを利用されている方に限らせて頂きます。

なお、使用できるワークステーションは、

戸畑 open-news.isct.kyutech.ac.jp
ip address:150.69.5.33

飯塚 asagao.isci.kyutech.ac.jp
ip address:131.206.8.11

です、また、次期システムのX端末の公開は12月以降に予定しています。



§1. 次期計算機システムの概要

平成8年4月から使用する情報科学センター教育研究用計算機システムの納入について、8月16日に入札が行われ、その後技術審査をへて、8月30日に開札されました。その結果次期システムとして、安川情報システム株式会社とソニー株式会社により、SONYのNEWSワークステーション(約300MFLOPS)を中心とするシステムが納入されることが決定しました。

次期システムの仕様作成には、両キャンパスの教育用サブシステムの強化、研究用サブシステムの強化、ネットワークの強化、という基本方針をたててあたり、上記のようになりました。

新システムの構成は、現行システムと同じく、教室用Xウィンドウ端末、CPUサーバ、ファイルサーバをLANで相互接続したのですが、全体に大幅な性能向上を図っており、いわゆるマルチメディアデータの取り扱いも考慮したものになっています。研究用の立場から見ると約3GFLOPSの並列コンピュータが3台導入されることとなります。(なお、詳しくは情報科学センター広報第8号に掲載します。)

新システムの主な内容は以下のとおりです。

CPUサーバ(ワークステーション): ソニー NEWS-7000B
飯塚教育用 12台, 戸畑教育用 8台, 研究用 11台
主記憶容量: 256MB
ディスク容量: 2GB
演算性能: 250 SPECint92, 350 SPECfp92
総計算能力: 約 9GFLOPS 現システム比 44倍(理論値)

X端末: 高岳製作所 XMint CMX1712
飯塚教育用 約240台, 戸畑教育用 約180台
性能: 255,000 Xstones, 5.00 Xmarks
17インチカラーディスプレイ(256色表示)
PCMオーディオ入出力機能
ローカルクライアント機能
メモリ: 現システム比 2.4 倍

ファイルサーバ: ソニー NEWS-5000X+ディスクアレイ装置
NFS性能: 4150 SPECnfs_A93 以上, 5830 nfsiops 以上
RAIDレベル: 0, 1, 5 可能
実効ディスク容量(教育用): 43GB×4
実効ディスク容量(研究用): 43GB
実勢容量: 現システム比 10 倍

ネットワーク
端末系: 10Mbps Ethernet switching
サーバ系: 100Mbps FastEthernet switching
現システム比 約 10 倍以上(理論値)

ソフトウェア
NEWS-OS Release6.1 (UNIX SystemV Release4.2 ベース)
X11R6, OSF/Motif 1.2.2
標準UNIXソフトウェアツール群, ネットワークソフトウェア
言語処理系(C, C++, Pascal, Fortran77)
グラフィックツール(AVS/Express)
分散並列処理支援ツール(LSF)
汎用CAD(XCAD-N :戸畑のみ)
各種フリーウェア(GNU, TeX, Mule/Emacs 等)

その他
マルチメディアPC
Mathematica(数式処理システム)無制限サイトライセンス
BSD/OSサイトライセンス

なお、現在のSunのシステムからの移行にあたっては、ユーザプログラムの修正(言語レベルではあまり変更はありません)と再コンパイル、環境設定の変更等が必要となります。こうしたシステム移行に関する情報、また新システム

に関する説明会, 講習会等の情報については, 準備ができしだい, 順次お知らせしていく予定です.

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

§1. 演示用端末の利用について

情報科学センター飯塚では、AV講義室で利用できる演示用端末を用意しました。この演示用端末は、プロジェクターに教官の画面を直接映し出すことができます。授業で使用される場合は、情報科学センター2Fプログラム相談室で端末を貸し出します。

§2. データのアップロード／ダウンロード用パソコンの変更について(飯塚)

ワークステーションとの間で、ftp によるファイル転送ができるパソコンとして PC-98 を設置していましたが、DOS/V に変更になりました。利用できるフロッピーディスクは、3.5inch 2DD, 2HD(1.44M, 1.2M) 及び 5inch 2HC, 2DDです。飯塚キャンパス2Fプログラム相談室で利用できます。お気軽にご利用ください。

なお、戸畑センターのデータのアップロード／ダウンロード用パソコンは、従来通りです。



§1. 研究システム WS 追加のお知らせ

研究利用者の増加, 計算量の増加に対応するため, 情報科学センターの研究用 WSにおいて, つぎの様に追加増強されました. なお, 研究システムは戸畑キャンパス情報科学センター2F 研究端末室に設置しています.

・従来構成

[CPU サーバ(5台)], [ファイルサーバ(1台)]

機種	メモリ	SPECint92	SPECft92	台数	マシン名
SPARCstation 2	48MB	21.8	22.8	3	nazuna, gogyoh, sususiro
Super COMPstation 10/40 (SS/10 互換機)	64MB	50.2	60.2	2	hotoke, suzuna
SPARCstation 2	32MB			1	

・増強 WS 群(7台)

[CPU サーバ(6台)], [ファイルサーバ(1台)]

機種	メモリ	SPECint92	SPECft92	台数	マシン名 [IPアドレス]
JS/20M61 (SS/20 互換機)	128MB	88.9	102.8	6	res1 [150.69.5.21] res2 [150.69.5.22] res3 [150.69.5.23] res4 [150.69.5.24] res5 [150.69.5.25] res6 [150.69.5.26]
JS/20M61 (SS/20 互換機)	128MB			1	

[利用可能言語等]

FORTRAN 90

コンパイルコマンド: /usr/lang/frt または,
/usr/lang/f77

<<利用例>>

```
% /usr/lang/frt pai.f -lm
% /usr/lang/f77 pai.f -lm
```

以上の様に CPU サーバ 6 台が追加増強され, WS 1 台当たり 4~5 倍の性能アップとなります. どうぞご利用ください.

※ライセンスの関係で, PASCAL, PHIGS, IMSL, Mathematica など一部利用できないものがあります.

§2. 夏休み期間中のサテライトX端末の運用について(飯塚)

飯塚キャンパスのサテライトX端末の夏休み中の運用スケジュールは, 下記のとおりとなっていますが, 17:00 以降は, 動作の保証はできません. 障害, 問合せ等についても対応できません. あらかじめご了承ください.

設置場所	端末数	夏休み中の利用時間
福利構成棟(ATM装置横)	X端末6台	夏休み中は利用できません
図書ロビー	X端末6台、 プリンタ1台	~ 図書館の閉館時刻
事務棟前ロビー	X端末4台	~ 21:00
講義棟(旧学生会室)	X端末5台	夏休み中は利用できません

§1. 飯塚のターミナルサーバ回線について

情報科学センター飯塚のターミナルサーバ回線の一部をアナログ化し、高速モデムを利用できるようにしました。アナログ回線で 14400bps 級のモデムを使用することにより、従来 (2400bps) に比べて高速な通信ができます。なおデジタル内線から使用すると、最高 2400bps でしか接続しませんので、従来通りの番号 (7572) でご利用ください。

電話番号: 29-7579(または内線7579) (3回線)
モデム: OKI PCLINK144FX
回線通信速度: 最高14400bps (V. 32bis)
エラー訂正: V. 42, MNP2~4, 10
データ圧縮: V. 42bis, MNP5

なお、ターミナルサーバの使用法等は従来の回線(29-7572)と同様です。

§2. システム保守に伴う休館のお知らせ

システム保守のために、下記の期間、戸畑および飯塚キャンパスの情報科学センターを休館します。

- 8月14日(月)～8月15日(火)

§3. 夏休み期間中のセンターの運用について

夏休み中のセンターの運用スケジュールは、下記のとおりです。なお、戸畑は月曜日の午前中、飯塚は水曜日の午前中は保守のため休館です。また、飯塚キャンパスのサテライトX端末は、それぞれ 21:00 (図書館の端末については、図書館の閉館時刻) まで利用は可能ですが、17:00 以降は、動作の保証はできません。障害、問合せ等についても対応できません。あらかじめご了承ください。

運用時間は、いずれも 9:00～17:00 (但し、午前中休館日は 12:00 から)

● 戸畑キャンパス

☆7月11日～7月31日

《利用できる教室》:ホセンB, ホセンC, デバック室

☆8月1日～8月31日

《利用できる教室》:ホセンC

● 飯塚キャンパス

☆7月15日～7月31日

《利用できる教室》:AV講義室, AV演習室, 端末講義室, 端末演習室1

☆8月1日～8月31日

《利用できる教室》:端末講義室

☆9月1日～9月10日

《利用できる教室》:AV講義室, AV演習室, 端末講義室, 端末演習室1



§1. 端末演習室1の利用について(飯塚キャンパス)

端末演習室1(センター3F)は下記の期間中, 情報技術セミナーで使用します。セミナー関係者以外の方の入室はご遠慮ください。なお, 下記の時間帯以外は通常通り利用できます。

5月22日(月)～6月2日(金)8:50～17:00 情報技術セミナー(中級)
6月5日(月)～6月16日(金)8:50～17:00 情報技術セミナー(上級)

§2. 計算機資源の節約のお願い

日頃から, 計算機資源の節約についてはご協力を頂いていますが, 情報科学センターのディスク容量が不足しております。不必要なファイルは削除をお願いします。なお, 学科システムを利用できる利用者はできるだけそちらのシステムを利用してくださいようお願い致します。

また, プリンター用紙やトナーの消費量も増加しています。無駄なプリントアウトは極力避けて下さい。



§1. サテライトX端末の設置について

このほど飯塚キャンパスでは、下記の場所にカラーX端末を設置しました。どうぞご利用ください。なお、1人で長時間端末を占有することはご遠慮ください。

設置場所	端末数	利用時間
福利厚生棟(ATM装置横)	X端末6台	21:00まで
図書館ロビー	X端末6台, プリンタ1台	図書館の閉館時間まで
事務棟前ロビー	X端末4台	22:00まで
講義棟	現在セットアップ中	未定

§2. TA用ユーザ名について

平成7年度から新規にTA用ユーザを希望される方は、情報科学センターで配布している申請書に記入の上、センター事務室に提出してください。

§3. ユーザ名の削除について

本学を退籍した学生および職員のユーザ名を、5月8日(月)に削除します。特に、大学院に進学した学生についても削除対象になりますので注意してください。ファイル等が必要な学生は必ず、大学院のユーザ名を登録し、ファイルをコピーしておいてください。

大学院生のユーザ名の登録は、情報科学センター事務室および情報科学センター2階のプログラム相談室で配布している、登録手順書にそって登録してください。



§1. 年度末の計算機サービスの一時停止について

下記の期間中、年度末処理および、システムバックアップ作業のため、計算機サービスを一時停止し、センターを閉館します。ネットワーク経由の利用に関しては、システムに支障がない限り利用できます。

3月25日(土)～4月2日(日)

§2. 研究システムの運用について

研究システムのディスク増強作業を行うため、センター休館中は研究システムが停止していることがあります。そのため、研究システムの連続運転を保証することができません。長時間ジョブを実行される研究システムのユーザの方は注意が必要です。なお、期間中においても、電子メール等のサービスは、ネットワーク経由で受けることができます。

§3. 平成6年度TA用ユーザ名の抹消について

平成6年度に登録されましたTA用ユーザ名は、3月31日(金)をもって抹消します。TA用ユーザ名については継続はできません。必要なファイル等をお持ちの方はご注意ください。なお、平成7年度のTA用ユーザ名の登録は、4月3日(月)より受付を開始します。



Not Found

The requested URL was not found on this server.

Apache/2.4.18 (Ubuntu) Server at www.isc.kyutech.ac.jp Port 443

§1. BSD/386 日本語キットの配布について

BSD/386 については以前にも ISC-NEWS でお知らせしていましたが、この度、日本語アップデートキット公開することになりました。この日本語アップデートキットは、英語版のインストールをしたものに、日本語を使用できるツールをインストールするというものです。したがって、最初から日本語キットをインストールできるものではありません。

この日本語アップデートキットを使いたい方で、情報科学センターによるライセンスをお持ちの方は、ライセンス交付書にありますメールアドレスまでメールを出してください。また、ライセンスをお持ちでない方は、各キャンパス情報科学センター事務室で配布している、ライセンス申請書に必要事項を記入の上、情報科学センター事務室までお持ちください。ライセンス申請には、情報科学センターの ID が必要です。

また、BSD/386 の利用について、詳しい規定等は、ISC-NEWS No.60, 62 でお知らせしたとおりです。

なお、BSD/386 に関するお問い合わせは、下記のメールアドレスまでお願いします。

bsd386@isci.kyutech.ac.jp

§2. 第2回並列分散処理に関する研究会開催について

Parallel and Distributed Computing at KIT '94
Kit tobata, December 9(fri), 1994,

第2回並列分散処理に関する研究会

「九工大にはどのような高速コンピュータが必要か？」
- トレンディーは並列計算 -

日時: 12月9日(金) 13:00 ~ 16:50

場所: 九州工業大学戸畑キャンパス ホセン A (情報科学センター)

主催: 九州工業大学 情報科学センター
将来計画委員会高速計算機ワーキンググループ

九工大にはどのような高速コンピュータが必要でしょうか? この問題を全学で考えて頂くために、本研究会を企画しました。この研究会は講習会を兼ねています。

九州工業大学情報科学センターの研究システムは、最近多くのユーザに使っていただいています。しかしながら、常に多くのユーザが多くの計算を行なっているため、思ったような計算速度が出なくなっています。

この問題を解決するためには、より高速なコンピュータを九工大に導入する必要があり、高速コンピュータを新たに導入するためには、ユーザの大きな声が必要です。

情報科学センターでは、現在最もトレンディーな高速計算システムである、「並列分散処理システム」の概算要求を行なっており、この要求が認められることを期待しつつ勉強を重ねていきたいと考えています。

並列分散処理システムは、複数のコンピュータを同時に動かすシステムです。最近の安くてスーパーコンピュータ並のスピードを持つコンピュータを、安く高速なネットワークで接続して、同時に動かすことによって、今までできなかったような大きな計算を、手軽に行うことができる時代になっています。

プログラムの目玉として、メーカーの方に、最近の高速計算機の動向なども話して頂く予定です。

本学の教職員や学生の皆様だけでなく、学外の皆様の参加も歓迎します。

<<プログラム>>

13:00 - 13:30 これからの高速コンピュータ
情報科学センター長 柏木 浩

13:30 - 14:30 IBM の並列サーバ SP2 の紹介
日本 IBM 吉田英一

14:30 - 14:50 休憩

14:50 - 15:50 富士通の超並列コンピュータの紹介
富士通 藤崎 正英

15:50 - 16:20 物理学をやるためには計算パワーがもっと欲しい
工学部自然科学教室 岡本良治

16:20 - 16:50 分子の動きのシミュレーションを行うためには計算パワーがもっと欲しい
工学部機械教室 赤星保浩

§1. WWW の公開実験について

情報科学センターでは、9月よりWWW(World Wide Web)の公開実験を行っています。現在、いくつかの学内の団体が公開実験に参加しており、広域ネットワークの新しい利用形態として、ますます広がっていくことが予想されます。

そこで、飯塚キャンパスのみで実施していたこの公開実験を戸畑キャンパスでも行うことになりました。具体的には、センターの教育システムから情報の提供を行うことが可能となり、戸畑キャンパスに在籍する職員及び学生で構成される団体によって、運営されることとなります。

WWW(World Wide Web)とは、電子ニュースや電子メールなどでは実現が難しかった画像、動画、音声などのマルチメディア情報とハイパーテキストを組み合わせた情報をネットワークを通して見ることができるものです。有名なものとしては、国立ガンセンターから情報が提供されている気象衛星ひまわりの画像情報などがあり、国内外からいろいろな情報を入手することができます。九州地域のネットワーク(KARRN)でも活発な情報提供が行われています。

登録希望の方は、

ohnishi@isci.kyutech.ac.jp

まで、責任者及びメンバー一覧(氏名、学科、学生(職員)番号、センターのユーザ名)と団体名†を送ってください。

† Unix のグループ名として使用するので、英文字で8文字以内でつけて下さい。
例: アニメーション研究会 Ani-ken

★ハイパーテキスト: 文字だけでなく写真や動画、音声などが関連づけられ各々のメディアの特徴を生かすことにより相乗効果を引き出したテキスト。階層的、多層的な情報構造を実現したことにより、任意の順序でテキストを読むことができる。

§2. WWW の情報を見るには

WWWの情報を教育システムから見るできるようになりました。ただし、現在のところ学外のWWWサーバにはアクセスできませんので御了承ください。使い方は教育システムの端末から mosaicコマンドを入力し、コマンドの引数としてWWWサーバのアドレス‡を入力します。例えば、情報科学センター(戸畑)のWWWサーバにアクセスするには、次のように入力します。

‡ 正確にはURL(Uniform Resource Locators)と呼ばれる形式で記述します。このURLについてはUNIX USER 94年11月『新インターネット構築術』を参照してください。

mosaic http://www.isct.kyutech.ac.jp

引数のhttp(HyperText Transfer Protocol)はhtml(HyperText Markup Language)で書かれたテキストを解釈し、ネットワークを通じてクライアント側へテキストやイメージを送出して、リクエストに応えることを意味しています。

なお、学内には以下のWWWサーバが現在運営されており、これらのサーバから他のWWWサーバへは簡単に移動することができますので御利用ください。なお、WWWについてはUNIX MAGAZINE '94 2,3『インターネットの利用と仕組み』等をご参照下さい。

九州工業大学 代表 http://www.kyutech.ac.jp
情報科学センター 飯塚 http://www.isci.kyutech.ac.jp
情報科学センター 戸畑 http://www.isct.kyutech.ac.jp

§3. 工大祭期間中のセンターの閉館について

工大祭期間中、センターの教育用システムの計算サービスを一時停止します。これに伴いセンターを閉館しますが、ネットワークによる研究システムの利用は可能です。以下の期間中は終日閉館です。

- ★ 戸畑キャンパス 11月19日(土) ~ 22日(火)
- ★ 飯塚キャンパス 11月21日(月) ~ 22日(火)



§1. 九州工業大学BSD/386サイトライセンスの使用について(再掲)

ISC-News No.60 でお知らせした『BSD/386サイトライセンスの使用について』という項目のなかで、職員は学外では BSD/386 を利用することができないというような表現がありました。実際には、職員も研究登録とライセンス申請をすれば、自宅での利用も可能です。既に研究登録をしている職員は、ライセンスを申請するだけで利用できます。また、サイトライセンスの利用者のための ftp サーバがありますが、この ftp サーバはセンターの教育システムの ID を使わなければ利用できません。そのため、ライセンス申請を行う場合、情報科学センターの ID が必要です。センターの ID を持っていない方には、申請書と一緒に登録手順書をお渡しします。手順書にしたがって各自で登録してください。

§2. 学部学生の成績表示システムについて(再掲)

情報科学センターの計算機に、学部学生が自分自身の「成績表」「履修申告科目表」「修得単位数集計」等を表示するためのツールを置きましたので、活用して下さい。

このツールを起動するには、コマンドラインに

```
seiseki-info &
```

と入力し、最初に画面に現れる対話用ツールに対して、学生番号(ログイン名ではない)とパスワードを入力します。パスワードが正しく入力された場合には、画面に「成績表」が現れます。

最初に現れる「成績表」には、各修得科目の「合格」「不合格」と単位修得年月に関するデータのみが表示されます。

画面上部右側の「選択ボタン」をマウスボタンで選択すると、各科目の成績に関するより詳しいデータ(「優」「良」「可」又は、「得点」)が表示されます。

画面上部左側の「選択ボタン」をマウスボタンで押すと、画面の表示を「履修申告科目表」または「未修得科目表」に切り替えることができます。

また、【取得単位数合計・進級/卒業要件】をマウスボタンで押すと、科目区分ごとに集計された修得単位数の合計が表示され、また、進級/卒業のために必要な単位数が表示されます。

なお、情報科学センターの計算機のホームディレクトリに置かれる設定ファイル

```
.Xdefaults
```

に対して独自の設定をしている学生は、この設定ファイルに次の行を追加することが日本語表示のために必要となります。

```
*compositeFont1: fixed-k14 ¥  
  *-fixed-medium-r-normal--14-*-*-*-jisx0201.1976-* ¥  
  -misc-fixed-medium-r-normal--14-*-*-*-jisx0208.1983-*
```

この設定は、センター標準設定ファイル

```
/usr/local/isc/defaults/Xdefaults
```

に記載されていますから、必要な場合は自分の設定ファイルにコピーして下さい。

§3. スキャナーの公開について(飯塚)

情報科学センター(飯塚)での WWW の公開実験の開始にともない、飯塚地区のスキャナーを公開します。情報科学センター2Fプログラム相談室で使用できます。ただし、スキャナーを使用する際、情報科学センターの ID が必要です。センターの ID を持っていない方は、事前に、登録方法を書いた登録手順書にしたがって、各自で登録をしてください。



§1. WWW の公開実験について

WWW(World Wide Web)とは、電子ニュースや電子メールなどでは実現が難しかった画像、動画、音声などのマルチメディア情報とハイパーテキストを組み合わせた情報をネットワークを通して見ることができるものです。有名なものとしては、国立ガンセンターから情報が提供されている気象衛星ひまわりの画像情報などがあり、国内外からいろいろな情報を入手することができます。九州地域のネットワーク(KARRN)でも活発な情報提供が行われています。

情報科学センター(飯塚地区)では、これらの新しい試みに、より多くの方々に参加していただくために、9月中旬より WWW の公開実験を行います。具体的には、情報科学センターの教育システムから、定期的に情報(どんな情報でも構いません)を提供していただき、九州工業大学で作成する WWW の情報を増やしていきたいと思えます。

WWW がどのようなものか興味のある方は、教育システムの X 端末から以下のコマンドを入力してみてください。現在までに登録されているさまざまな情報を見ることができます。

mosaic http://www.isci.kyutech.ac.jp

この実験へ参加希望の方は、

ohnishi@isci.kyutech.ac.jp

まで、責任者、メンバー一覧(氏名、学科、学生(職員)番号、ユーザ名)、団体名を送ってください。情報科学センターの ID を持ち、定期的に情報提供をすることができる方ならば誰でも、個人、団体を問わず登録できます。なお、9月以降はイメージスキャナの使用も可能になる予定です。

§2. Be-net の廃止について

平成6年8月31日をもって Be-net を廃止します。Be-net は tty 端末からネットワーク経由で九州大学大型計算機センターの MSP をフルスクリーンで利用するためのものですが、MSP では既に平成4年から TCP/IP による telnet および ftp サービスを開始しており、本学のパソコン端末や X 端末などから(Be-netを介さず)直接大型計算機センターの MSPを利用することができます。ネットワークの回線速度についても後者の方が10倍以上高速です。利用方法の詳細については、情報科学センター発行の

*「利用の手引; 研究利用編」, p61~p.99, 平成5年9月

を参考にしてください。なお、この利用の手引をご希望の方は情報科学センター事務室までご連絡ください。

§3. 成績確認コマンドの公開について(飯塚)

9月12日(月)より、情報科学センターの教育システムのIDを使用して、成績を確認できるようになります。コマンド名は

seiseki-info

です。現在のところ学部学生(飯塚地区のみ)しか利用できません。また、Xdefaultなどを個人で設定している人は次の設定が必要となります。

*compositeFont1: fixed-k14 ¥
-*-fixed-medium-r-normal--14-*-*-*-jisx0201.1976-* ¥
-misc-fixed-medium-r-normal--14-*-*-*-jisx0208.1983-*



§1. 修士課程から博士課程に進学した学生のユーザ名の取り扱いについて

ISC-News No.54 及び No.55 中の「ユーザ名の削除について」という項目で、

博士後期課程に進んだ学生は、前期課程(修士)のユーザ名をそのまま利用できます。

とお知らせしましたが、進学情報を得られないことがわかりました。よって修士学生時のユーザ名をそのまま使用することができませんので、新しい学生番号で新たにユーザ名を登録する必要があります。今年度の大学院生のユーザ名は、まだ削除処理を行っていませんので、前のユーザ名をそのまま利用することができましたが、8月26日(金)に大学院生のユーザ名の削除処理を行います。ファイルが必要な方は新たにユーザ名を登録して必要なファイルをコピーしておいてください。

§2. 九州工業大学BSD/386サイトライセンスの使用について

2.1 BSD/386とは

BSD/386とは、4.3BSD(EWSで採用されていたUNIXのOS)をDOS/Vパソコン上で動くようにしたOSです。パソコン上で動くUNIX OSとしては、その他にもFreeBSD, NetBSD, Linuxなどのフリーソフトウェアがあります。これらのフリーソフトウェアは、毎日の改良やデバッグが続けられているため、常に環境を整備できるユーザにとっては良いのですが、単にUNIX環境をツールとして使うユーザには荷が重いようです。BSD/386は、BSDI社がOSの品質を保証していますので、他のUNIX OSに比べて動作が安定しており、また、ユーザサポートを受けることができるというメリットがあります。

このほど、九州工業大学では、情報科学センターが中心となってBSD/386のサイトライセンスを取得しましたのでこれを公開します。以下、サイトライセンスを使用する方法について簡単に記述していますので、これを機会にぜひUNIXの世界へ足を踏み入れてみてはいかがでしょうか? また、不明な点がありましたら以下までお問い合わせ下さい。

戸畑キャンパス プログラム相談室(内線 571)
飯塚キャンパス プログラム相談室(内線 7558)
電子メール bsd386@isci.kyutech.ac.jp

2.2 BSD/386を使用するには

まず、BSDI社が定めるライセンス条件を守っていただきます。これに加えて2.2.1 および2.2.2の条件を付加します。これらの条件を守っていただけない場合は、情報科学センターはBSD/386の使用を禁止することができます。

九州工業大学が取得したサイトライセンスでは、戸畑キャンパス内の職員および学生、飯塚キャンパス内の職員および学生がこのBSD/386を使用することができます。ただし、使用場所としては学内に限定されていますので、これを大学の敷地外(学寮やクラブ棟などでは使用できません)に持ち出すことは禁じられています。

2.2.1 使用形態

管理の都合上、情報科学センターが認める使用形態は次のいずれかとします。

§組織単位

組織単位での使用とは、学科、事務部もしくは他の共同利用施設といった組織内に所属する人々が自由にその組織の計算機でBSD/386の使用が許されるものです。例えば、知能情報工学科に所属する計算機(共同利用施設や研究室も含まれる)で、知能の学生や職員が自由に使用したい場合は、この使用形態となります。

§研究室単位

研究室単位での使用とは、教授もしくは助教授の管理下にある研究室に所属している人々(学生、職員など)が自由に複数の計算機(研究室に所属している計算機に限ります。学科内の共同利用施設の計算機などの場合は組織単位での使用になります)でその使用が許されるものです。例えば、情報科学センターの竹生研究室でライセンスを取得した場合は、その研究室の学生、助手、技官などが、研究室内の計算機に対してもBSD/386が使用できます。

§学生単位

学生単位とは、大学敷地内もしくは自宅に存在する個人所有の計算機に適用されます。ただし、学生単位の登録では、1つの登録で複数の計算機での使用は認められません。必ず、台数分の登録が必要となります。なお、研究室などに個人の計算機を持ち込んでいる場合に、学生登録は原則として認められませんので、研究室の先生と相談の上、研究室単位の登録をお願いします。

§その他(クラブ、団体など)

クラブが所有している計算機(個人のを除く)に対して、クラブに所属している学生が使用する場合に適用されます。

2.2.2 BSD/386の使用料

上記の使用形態に合わせて、BSD/386の使用料(1年単位)を徴収します。ただし、「学生の個人単位の使用」や「その他の団体単位の使用」などのように学生自身が自主的に使用する場合に限り、使用レポートを提出してもらうことでBSD/386の使用料を免除します。

使用形態	年間使用料	計算機	使用者
組織単位	3万円	組織の計算機	組織に所属する職員及び学生
研究室単位†	1万円	研究室の計算機	研究室の職員及び学生
学生単位	レポート	学生所有の1台の計算機	申請者本人
その他	レポート	団体所有の計算機	団体に所属する学生

†職員単位では認めていません。申請は研究室で行ってください。

《使用料について》

研究室単位の使用に関しては、情報科学センターの研究登録を行ってもらうことで使用料を収めてもらいます。よって、現在、情報科学センターに研究登録をしている研究室は、「ソフトウェア貸し出し申請書」を提出するだけでBSD/386を利用することができます。

また、組織単位の使用に関しては、情報科学センターの事務室までお問い合わせ下さい。

《レポートについて》

学生単位の使用やその他の団体単位での使用に対しては、原則として使用料は不要ですが、1年毎に簡単な使用レポートを情報科学センターに提出してもらいます。この内容は、使用した感想やどのように役立っているかをまとめてもらえれば結構です。また、あらたに作成したツールなどの公開などのレポートでもかまいません。

《必要な提出書類》

- ・組織単位&ソフトウェア貸し出し申請書(組織用1通)
- ・研究室単位&ソフトウェア貸し出し申請書(研究室用1通)
- ・学生単位&ソフトウェア貸し出し申請書(個人用1通)
- ・その他(クラブ、団体など)&ソフトウェア貸し出し申請書(組織用1通)

《ソフトウェアの貸し出し》

まず、必要な書類を提出します。その後、電子メールにて、取得したライセンス番号を下記のメールアドレスに送り、貸し出し希望の日付を明記します。

戸畑サイトライセンス受付 tbsd-rent@isci.kyutech.ac.jp
飯塚サイトライセンス受付 ibsd-rent@isci.kyutech.ac.jp

日付を調整の上、貸し出し日付を折り返しメールしますので、情報科学センターのプログラム相談室までメディアを取りに来て下さい。なお、ライセンス取得後、システムのクラッシュなどで、再度メディアの貸し出しを希望する場合は、書類の再提出は不要ですので、直接、上記メールアドレスに貸し出し希望のメールをお送りください。



§1. 第1回 並列分散処理に関する研究会開催のお知らせ

第1回 並列分散処理に関する研究会を下記のとおり開催いたしますので、多数ご参加下さい。

Parallel and Distributed Computing at KIT '94
kit iizuka, July 25(mon), 1994,

第1回 並列分散処理に関する研究会

日時 1994年7月25日(月曜日)
10時 - 14時50分

場所 九州工業大学情報工学部200人講義室
(福岡県飯塚市)

主催 九州工業大学情報科学センター
将来計画委員会HPCワーキンググループ

近年、コンピュータネットワークや超並列計算機の発展と普及に伴い、並列計算や分散処理に関する関心が高まっています。並列計算や分散処理を行なうことによって、従来のベクトル型スーパーコンピュータではこれ以上計算速度の向上が見込めなかったようなものでも、高速化できる可能性があります。

現在世界で最も速いコンピュータの多くは、超並列コンピュータなどの並列コンピュータです。また、最近の安くて高速のワークステーションやパソコンを、ネットワークに接続し並列計算させることによって、ひと昔前のスーパーコンピュータでしかできなかったような計算を、安価で短時間に行なうことができるようになっていきます。

数値計算以外の分野でも並列計算や分散処理を応用することができます。例えば、本学情報科学センターで開発している電子黒板は並列プログラムです。

本学の学生教職員や、本学周辺の企業や大学の方々の、並列分散処理の理解を深めるため、本研究会を企画しました。できるだけ多くの方々に参加していただけるよう、かたばらない、気楽な研究会にしようと思っています。

また、Paragon などの超並列コンピュータを開発している Intel の方に、並列プログラミングのチュートリアルをやっていただく予定です。

多くの方の参加をお願いいたします。

≡≡≡≡≡≡≡プログラム≡≡≡≡≡≡≡

午前の部の司会 山之上卓(情報科学センター)

10:00 - 10:20 「並列処理の可能性と情報科学センターの将来計画」
柏木 浩(情報科学センター長)

10:20 - 11:20 チュートリアル
「超並列コンピュータのプログラミング」
池田昭雄・清水良直(インテルジャパン)

11:20 - 11:40 「並列処理のためのタスク・スケジューリング問題の並列処理
--- 概念的並列処理の効果 ---」
小林 史典(九州工業大学 情報工学部)
近藤 仁志(東京工業大学 総合理工学研究科)

11:40 - 12:00 「2次元Fourier係数列計算の並列処理」
小林 史典(九州工業大学 情報工学部)
魏 武(九州工業大学大学院 情報工学研究科)

午後の部の司会 竹生政資(情報科学センター)

13:30 - 13:50 「ネットワーク上のワークステーションによる
有限要素解析の並列化」
倉前 宏行(九州工業大学 大学院 情報工学研究科)
堀江 知義(九州工業大学 情報工学部)

13:50 - 14:10 「相互結合網シミュレータINSIGHTの
高並列計算機AP1000への実装について」
柴村 英智、久我 守弘、末吉 敏則
(九州工業大学 マイクロ化総合技術センター)

14:10 - 14:30 「ワークステーションクラスタによる
分散スーパーコンピューティング環境の高性能実装法」
末吉 敏則, Bernady O Apduhan, 岡 雅樹
(九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科)
大西淑雅(九州工業大学 情報科学センター)

14:30 - 14:50 「分散ワークステーションシステムで利用できる
簡単なメッセージパッシングライブラリとその応用例」
山之上 卓(九州工業大学 情報科学センター)

§1. システム保守に伴う閉館のお知らせ

システム保守のため、下記の期間、戸畑および飯塚キャンパスの両センターを閉館します。

8月15日(月)・・・システム保守のため閉館

§2. 夏季休業期間中のセンター運用スケジュールについて

センターの運用スケジュールは、下記の通りです。なお、戸畑は月曜日の午前中、飯塚は水曜日の午前中を保守のため休館します。

・7月11日～31日

《運用時間》9:00～17:00(但し、午前中休館日は12:00から)

《利用できる教室》

(戸畑)ホセンB (飯塚)AV講義室
ホセンC AV演習室
デバック室 端末講義室
端末演習室1

・8月1日～31日

《運用時間》9:00～17:00(但し、午前中休館日は12:00から)

《利用できる教室》

(戸畑)ホセンC (飯塚)端末講義室

・9月1日～10日

《運用時間》9:00～17:00(但し、午前中休館日は12:00から)

《利用できる教室》

(戸畑)ホセンB (飯塚)AV講義室
ホセンC AV演習室
デバック室 端末講義室
端末演習室1

注:8月中は教育用ワークステーションの台数を限定した運用になりますが、次のワークステーションに限りセンター外(ネットワーク経由)からの利用が出来ます。

戸畑:sumire, yuri, rengo, ayame, kiku, azami, hagi, hasu

飯塚:toki, hakucho, hibari, hayabusa, raicho, kari, taka, sagi, tsuru



§1. Alliant の後継ワークステーションの運用開始について

飯塚センターの研究用ワークステーション Alliant の後継機種として、下記の 3 台のワークステーションを新規導入しましたのでご利用ください。なお、これらのワークステーションは戸畑、飯塚の両センターに分けて設置していますが、研究利用登録者はネットワーク経由でどのワークステーションでも利用することができます。

◇戸畑センター

Super COMPstation 10/40 2台
・ホスト名
- hotoke (hotoke.isct.kyutech.ac.jp)
- suzuna (suzuna.isct.kyutech.ac.jp)
・Sun ワークステーション Sparc Station 10/40 の互換機
・主記憶: 64MB
・SPECint92=50.2, SPECfp92=60.2
・ディスク容量(ユーザ領域)は、約 3.5 GB.
・使用可能言語コンパイラ
- Sun FORTRAN V.2.0.1
- Sun C
- GNU C および C++

◇飯塚センター

Super COMPstation 10/40 1台
・ホスト名¥¥
- soyokaze (soyokaze.isci.kyutech.ac.jp)
・Sun ワークステーション Sparc Station 10/40 の互換機
・主記憶: 64MB
・SPECint92=50.2, SPECfp92=60.2
・ディスク容量(ユーザ領域)は、約 1GB.
・使用可能言語コンパイラ
- Sun FORTRAN V.2.0.1
- Sun C
- GNU C および C++

使用方法は、従来の戸畑ワークステーション(gogyoh, sususiro, nazuna)と同じです。

☆使用例(Fortran の場合)

```
% rlogin hotoke.isct.kyutech.ac.jp ...hotoke に遠隔ログイン
Password: ...パスワード入力
Last login: Wed May 18 11:23:07 from....
SunOS Release 4.1.3-JLE1.1.3 (GENERIC) #1:....
....

% f77 -O4 prog.f ...最大の最適化オプション(-O4)
でコンパイルする。
% a.out ...実行
```

☆使用例(Sun C の場合)

```
% rlogin hotoke.isct.kyutech.ac.jp ...hotoke に遠隔ログイン
Password: ...パスワード入力
Last login: Wed May 18 11:23:07 from....
SunOS Release 4.1.3-JLE1.1.3 (GENERIC) #1:....
....

% cc prog.c -lm ...数式ライブラリオプション
(-lm)を付けてコンパイル。
% a.out ...実行
```

☆使用例(GNU C の場合)

```
% rlogin hotoke.isct.kyutech.ac.jp ...hotoke に遠隔ログイン
Password: ...パスワード入力
Last login: Wed May 18 11:23:07 from....
SunOS Release 4.1.3-JLE1.1.3 (GENERIC) #1:....
....

% gcc prog.c -lm ...数式ライブラリオプション
(-lm)を付けてコンパイル。
% a.out ...実行
```

☆使用上の注意

新規導入のワークステーション hotoke, suzuna, soyokaze では、IMSL や Mathematica, S などのライブラリは利用することができません(gogyoh, sususiro, nazunaでは可能です)。特に、数値計算ライブラリが必要な場合は、

(a)「UNIXワークステーションによる

科学技術計算ハンドブック;基礎篇C言語版」,
戸川隼人・著,サイエンス社

(b)「行列計算ソフトウェア;WS,スーパーコン,並列計算機」,
小国力・編,村田健郎・三好俊郎・ドンガラ,J.J.・長谷川秀彦・著,
丸善

(c)「Fortran 77 による数値計算ソフトウェア」,
渡部力・名取亮・小国力・監修,丸善

(d)「コンピュータによる連立一次方程式の解法;
—ベクトル計算機と並列計算機—」,
J.J.Dongarra, I.S. Duff, D.C. Sorensen, H.A. van der Vorst 著,
小国力・訳,丸善

などに附属しているフロッピーディスクのソースプログラムを利用するか,または,netlib から直接ソースプログラムを入手することができます. 後者の方法については上記の文献(d)の付録A(p.173~177)を参照してください.

☆ホスト名の命名について

・戸畑センターの研究用ワークステーションのホスト名は,「春の七草」からとっています. 芹(せり), 御形(ごぎょう), はこべ, 仏座(ほとけのざ), すずな, すずしろ.

・飯塚センターの研究用ワークステーション(現在1台しかありませんが)のホスト名は,「風」シリーズにする予定です. そよ風.



九州工業大学情報科学センター

§1. 端末演習室(1)の利用について(飯塚キャンパス)

端末演習室(1)は下記の期間中、情報技術セミナーで使われます。セミナー関係者以外の方の入室はご遠慮ください。なお、下記の時間帯以外は通常通り利用できます。

- ・5月23日(月)～6月3日(金)8:50～17:00 情報技術セミナー(中級)
- ・6月6日(月)～6月17日(金)8:50～17:00 情報技術セミナー(上級)

§2. センター講義室・演習室の空調について(飯塚キャンパス)

本年度、端末講義室・AV講義室・端末演習室(1)・AV演習室等は配管の補修のために6月末までは冷房が使用できません。

3. 研究システムの一時停止について

戸畑地区高圧ケーブル改修工事に伴い、5月15日(日)午前9時から12時まで停電となります。よって、研究システム(戸畑)は下記の通り停止します。

- 5月14日(土)18:00～5月16日(月)09:00



§1. 教育用システムの新規登録について

平成6年度の教育システムの新規登録を開始しました。ただし、登録の際使用するIDが昨年度のものから変更されました。昨年度の登録用IDでは登録できません。現在各教室事務、情報科学センターで配布している登録手順書にしたがって登録してください。

●講義登録

登録の際、申請が必要です。申請書を情報科学センター事務室に提出されましたら許可書と登録手順書を発行します。それにしたがって各自で登録してください。登録できるのは、本学教官、技官および非常勤講師です。

●TA登録

登録の際、申請および、講義担当教官の許可が必要です。申請書を情報科学センター事務室に提出してください。許可書と登録手順書を発行します。それにしたがって各自で登録してください。登録できるのは、本学の大学院生のみです。

●職員

登録の際、申請は必要ありません。各教室事務および、センター事務室に登録手順書がありますので、それにしたがって各自で登録してください。

●大学院生・研究生・聴講生

登録の際、申請は必要ありません。各教室事務および、センター事務室に登録手順書がありますので、それにしたがって各自で登録してください。

§2. ユーザ名の削除について(再掲)

本学を退籍した学生および職員のユーザ名を、4月29日(金)に削除します。特に、大学院に進学した学生についても削除対象になりますので注意してください。ファイル等が必要な学生は必ず、大学院のユーザ名を登録し、ファイルをコピーしておいてください。

なお、博士後期課程に進んだ学生は、前期課程(修士)のユーザ名をそのまま利用できます。

§3. 研究システム ALLIANT の撤去について

以前からお伝えしていましたように、ミニスーパーコンピュータALLIANTを撤去します。なお、ALLIANTの代替機としてSS/10をすでに導入しています。



§1. 講義利用に関する登録について

講義でセンターを利用する教職員は、講義用のユーザ名を教育システムに登録することができます。また、教官の補佐をするTAについても、TA用のユーザ名を登録することができます。ただし、講義用ユーザ名は次年度への継続登録が可能です。TA用については、登録された1年間のみ有効で、継続はできません。講義用およびTA用のユーザ名の登録については、センター事務室にて4月1日(金)より申請用紙を配布します。この用紙に必要事項を記入の上提出してください。

●講義登録

使用目的：講義のための教材作成および電子レポートなどの利用

使用期間：1年度単位(継続可)

使用者：本学教官、技官および非常勤講師

●TA登録

使用目的：講義のための教材作成および教官の補佐

使用期間：1年度単位(継続不可)

使用者：本学の大学院生(講義担当教官の許可が必要)

§2. 教育システムの新規登録について

本年度の教育システムの新規登録は、学生データおよび職員データのマスタ登録処理のため、4月11日(月)以降となります。

★本年度入学者(学部1年生)

マスタ登録が完了するとユーザ名ができます。ユーザ名と初期パスワード(ユーザ名通知書)は、センターを利用する最初の授業で授業担当教官により配布されます。また、前期にセンターを利用する授業がないが、自主的にセンターを利用したいという学生は、センター事務室までユーザ名通知書を取りに来てください。

★本年度入学者(編入生)

マスタ登録が完了するとユーザ名ができます。センター事務室にユーザ名通知書を取りに来てください。

★本年度入学者(大学院生・研究生・聴講生)

マスタ登録が完了すると登録が可能です。申請は必要ありません。各教室事務および、センター事務室に登録手順書がありますので、それにしたがって各自で登録してください。

★職員

マスタ登録が完了すると登録が可能です。申請は必要ありません。各教室事務および、センター事務室に登録手順書がありますので、それにしたがって各自で登録してください。

§3. 平成6年度研究登録について

研究システムの新規登録を4月25日(月)から受け付けます。登録用紙は情報科学センター事務室にて配布しますので、必要事項を記入の上、センター事務室に提出してください。

§4. ユーザ名の削除について

本学を退籍した学生および職員のユーザ名を、4月29日(金)に削除します。特に、大学院に進学した学生についても削除対象になりますので注意してください。ファイル等が必要な学生は必ず、大学院のユーザ名を登録し、ファイルをコピーしておいてください。

なお、博士後期課程に進んだ学生は、前期課程(修士)のユーザ名をそのまま利用できます。



§1. 講義用ユーザ名の登録および抹消について

平成5年度に使用した講義用ユーザ名を継続(または抹消)する場合は、3月上旬に配布した『講義用ユーザ名確認書』に必要事項を記入の上、3月31日(木)までに情報科学センター事務室に提出してください。なお、新規の講義用ユーザ名の登録は、4月1日より受付を開始しますので、登録用紙(センター事務室で4月1日より配布)に必要事項を記入の上提出してください。

§2. 平成5年度TA用ユーザ名の抹消について

平成5年度に登録しましたTA用ユーザ名は、3月31日をもって抹消します。TA用ユーザ名の継続はできません。ご注意ください。なお、平成6年度TA用ユーザ名の受付は、4月1日より行う予定です。

§3. 年度末および年度始めの計算機サービスの一時停止について

3月26日(土)から4月3日(日)まで、年度末処理およびシステムバックアップ作業のため、計算機サービスを一時停止します。ネットワークに関しては通常通り利用できます。また、利用できる講義室や利用時間等も、後期の授業終了を受けて変更されます。詳しくは、下記の表の通りです。ただし、月曜日はすべて12:50からです。

★戸畑キャンパス★

期 間	利用できる教室	時 間
3月 5日～3月25日	デバック室	9:00～17:00
3月26日～4月 3日	閉館	—
4月 4日～4月11日	デバック室	9:00～17:00

☆飯塚キャンパス☆

期 間	利用できる教室	時 間
3月 5日～3月25日	端末講義室	9:00～17:00
3月26日～4月 3日	閉館	—
4月 4日～4月12日	端末講義室	9:00～17:00

§4. センター講義室および演習室の使用について

情報科学センターの講義室および演習室は、講義時間と重ならない限り実験および演習での使用を許可してきました。平成5年度より、情報工学部の入学定員の増加に伴い、講義室と演習室の同時使用が必要となります。このため、センターの講義室および演習室の使用については、これらの調整が終る4月以降にしか許可できませんので御了承ください。

なお、平成6年度に使用できる教室は次の通りです。

教室名(戸畑)	収容人数	教室名(飯塚)	収容人数
ホセンA	120名	端末講義室	90名
ホセンB	55名	端末演習室1	22名
ホセンC	80名	AV講義室	90名
		AV演習室	10名

§5. メルコム内線回線数の変更及び戸畑内線回線の設置について

メルコム内線回線 566, 567, 568 は 3月22日に廃止します。内線 565 は、引き続き利用できます。

また、戸畑内線回線から LAN に接続する回線を以下の通り、3月24日より開設します。どうぞ、ご利用ください。

- ・内線番号 566, 567, 568
- ・通信速度 2400bps 以下 (MNP Class 5対応)

§6. 研究システム用夜間シェル自動起動システムについて

《概要》

このシステムはシェルスクリプトを夜間、自動的に起動するシステムです。シェルスクリプトの中に

```
rsh (EDU_WS) 実行プログラム < 入力ファイル > 出力ファイル
```

を記述することにより、起動時に最も負荷が小さい教育用 WS で実行プログラムを実行させることができます。

なお、本システムを利用するためには教育システムに ID が登録されていなければなりません。また、現在利用できるのは戸畑のユーザのみです。また、教育システムは、現在朝 7 時にリセットしていますので、それを越える長時間ジョブは実行できません。また、夜間は無人運転を行っていますので、ご注意ください。

本システムのソースプログラムは研究システムの

```
nazuna:/usr/ext/bin/night_t, nazuna:/usr/ext/bin/night/*
```

にありますので、飯塚地区を含む各学科で同様なことを行いたい場合には参考にして下さい。バグなどの情報提供を歓迎します。電子メールで、yamanoue@isct.kyutech.ac.jp までご連絡下さい。

《使用方法》

1. 準備

- 1.1 研究システムから教育システムのプログラムを rsh で実行できることを確認します。

(例) % rsh rene ls

ここで rene は教育システムの WS の1つです。

※注※ 教育システムでのユーザ名が、研究システムのもの異なる場合

- a. 教育システムにログインし、~/rhosts に以下の内容を追加します。~/rhosts が存在しない場合は新たにこの内容で作成します。

(例) % telnet rene

```
...
% cat >> ~/rhosts または % cat > ~/rhosts
gogyoh.isct.kyutech.ac.jp user
nazuna.isct.kyutech.ac.jp user
suzusiro.isct.kyutech.ac.jp user
[CTRL]+[D]
% more ~/rhosts
...
```

% exit

ここで user は研究システムのユーザ名です。
すでに .rhosts が存在する場合は上の内容を追加して

下さい。

- b. 以下の方法で、研究システムから教育システムのプログラムを rsh で実行できることを確認します。

(例) % rsh rene -l ruser ls

ここで ruser は教育システムでのユーザ名です。

- 1.2 教育システムで実行させる実行プログラムをコンパイルします。

(例) % f77 foo.f

なお、ソースプログラムを作成するとき、入出力は、標準入出力のみを使用するようにして下さい。

- 1.3 教育システムのホームディレクトリに 1.1 でできた実行プログラムをコピーします。

(例) % rcp a.out rene:~/.

※注※ 教育システムでのユーザ名が、研究システムのもの異なる場合

(例) % rcp a.out ruser@rene:~/.

- 1.4 すぐに終了するデータを使って実行を確認します。

(例) % rsh rene a.out < in.dat > out.dat

- 1.5 研究システムでシェルスクリプトを作成します。

(例) % emacs ex.sh

```
#!/bin/sh
rsh (EDU_WS) a.out < in.dat > out.dat
```

% chmod 755 ex.sh ... ex.sh を実行可能なファイルにします。

※注※ 教育システムでのユーザ名が、研究システムのもの異なる場合

% emacs ex.sh

```
#!/bin/sh
rsh (EDU_WS) -l ruser a.out < in.dat > out.dat
```

```
% chmod 755 ex.sh
```

ここで ruser は教育システムでのユーザ名です。

2. 1 で作成したシェルスクリプトを night_t コマンドでサブミットします。

(例) % night_t ex.sh

3. 実行

夜 10 時より, サブミットされたシェルスクリプトが自動的に実行されます。
このとき, スクリプト中の (EDU_WS) は, 起動時点で最も負荷の少ない教育
用 WS 名に置き換えられて実行されます。置き換え後のスクリプトは

.スクリプト名.exe

に作成されます。

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

§1. 戸畑外線モデムの速度UPについて

戸畑の外線モデムの通信速度が以下のようになりました。

093-882-7085 2400bps → 9600bps
093-882-7086 2400bps → 9600bps
093-871-0901 9600bps → 19200bps

どうぞご利用ください。

§2. 研究登録の継続処理について

情報科学センターに研究登録しているユーザの方は、登録の継続(または抹消)について、情報科学センターより配布した用紙に必要事項を記入の上、2月18日(金)までに、各キャンパスの情報科学センター事務室に提出してください。



九州工業大学情報科学センター

§1. 研究用ワークステーションの増設について

研究システムでは、現在のミニスーパーコンピュータAlliantにかえて新たに SuperCOMP Station 10/M40 (Sun Sparc Station 10/M40完全互換)を3台導入することになりました。3台の内訳は、
・戸畑キャンパス ... 2台
・飯塚キャンパス ... 1台
となっています。導入日程については現在調整中ですが、2月中旬頃にはサービス開始の予定です。

§2. データのアップロード/ダウンロード用パソコンの公開について

ワークステーションとの間で ftp によるファイル転送ができるパソコンを設置しました。PC-98 シリーズ用フロッピーディスク(5inch および 3.5inch)とワークステーションのディスクとの間でファイルの転送ができます。戸畑キャンパス・飯塚キャンパス共に2Fプログラム相談室で利用が可能です。お気軽にご利用下さい。

§3. メディア変換のサービスについて

飯塚キャンパス2Fプログラム相談室において8mmTAPE, データカートリッジ TAPE, 1/2インチMTの各種メディアをコンバートすることができます。

§4. Mathematica 公開セミナーについて

Mathematica とは、数式の定義や定理をグラフで示したり、複雑な式を計算したり数学の理解と研究に役立つ優れたソフトです。情報科学センターの研究用ワークステーションにもインストールされています。
Mathematica Days Seminarとは、これから Mathematica を使い始めようとする人や、もっと深く学びたい人のために、その開発に関わった講師たちが一日ずつ各地で行なうセミナーです。

情報科学センターでは、Mathematicaの公開セミナーを下記のように企画しています。

- ☆タイトル Mathematica Days Seminar
- ☆日時 平成6年1月31日(月曜日)午後1時~6時(休憩とデモを含む)
- ☆場所 福岡県立飯塚研究開発センター(情報工学部 正門前)
- ☆演題1 Algebraic and numeric computation
講師 Dr. Paul C. Abbott Department of Physics,
University of Western Australia
- ☆演題2 Introduction to Programming with Mathematica
講師 Prof. Richard J. Gaylord
Department of Materials Science and Engineering,
The University of Illinois Urbana-Champaign

参加費は無料です。多数ご参加下さるようお願い致します。



Not Found

The requested URL was not found on this server.

Apache/2.4.18 (Ubuntu) Server at www.isc.kyutech.ac.jp Port 443

Not Found

The requested URL was not found on this server.

Apache/2.4.18 (Ubuntu) Server at www.isc.kyutech.ac.jp Port 443

Not Found

The requested URL was not found on this server.

Apache/2.4.18 (Ubuntu) Server at www.isc.kyutech.ac.jp Port 443

§1. 工大祭期間中の教育システムの運用停止について

以下の工大祭期間中に教育用システムの保守点検を予定していますので、戸畑・飯塚両キャンパスとも以下のとおり計算サービスを停止します。

- 11月22日(月) 終日、教育システムの計算サービスを停止します。
これに伴いセンターを閉館しますが、ネットワークによる研究システムの利用は可能です。

§2. 研究システムのディスク増設計画について

現在、研究システムはディスク容量不足で利用者の皆様方にたいへん御迷惑をおかけしています。近々ディスクの増設を計画していますが、ディスク増設に伴いホームディレクトリを以下のように変更する予定ですので、十分ご注意ください。詳しい作業日程等については追ってお知らせいたします。

旧: /usr1/user/kenkyu/ユーザ名 or /usr2/kenkyu/ユーザ名
新: /home/ユーザ名

ホームディレクトリの変更により、次のような使い方をしている場合にはプログラムが実行できなくなる可能性がありますのでご注意ください。

- ・自分や他人のファイルを絶対パスで参照している場合。
 - ・C言語およびシェルによる使用例
open("/usr1/user/kenkyu/id/data", O_RDONLY);
grep error logfile > /usr1/user/kenkyu/id/errlog

- ・絶対パスでリンクを張っている場合。
 - ・使用例

```
% ls -l  
lrwxrwxrwx 1 id 1 Jan 0:00 a.f -> /usr1/user/kenkyu/id/a.f
```

§3. 第17回情報処理教育に関する研究会について

第17回 情報処理教育に関する研究会が、11月9日(火)に、福岡県立飯塚教育研究開発センターに於いて開催されます。講演のスケジュールは以下のとおりです。参加費は無料です。多数のご来場をお願いします。

講演会スケジュール

時間	講演内容
09:30 ~ 09:40	開会の挨拶 (柏木 浩 九州工業大学情報科学センター長)
09:40 ~ 10:05	九州地域研究ネットワーク KARRN 古川善吾(九州大学)・中山仁(九州工業大学)
10:05 ~ 10:30	ネットワーク環境と情報処理教育 --システム更新と問題点-- 岡部 成玄(北海道大学)
10:30 ~ 10:55	ネットワークを用いた英語の授業 清水 眞(九州工業大学)
10:55 ~ 11:10	休憩
11:10 ~ 11:35	多数のX端末を用いた授業支援システムの設計 山之上卓, 藤木健士(九州工業大学)
11:35 ~ 12:00	プログラミングコンテストのすすめ 竹生政資, 山之上卓, 中山 仁, 大西淑雅, 藤木健士 (九州工業大学)
12:00 ~ 12:05	閉会の挨拶

§1. ネットワークライセンスの講習会開催について

この春にリリースされた日本サンマイクロシステムズ社ソフトウェアの新しいバージョンが、従来の個別マシンごとの買取り方式から新しいライセンス方式(ネットワークライセンスも可)に変わりました。今後OSを含めすべてのソフトウェアがこうしたライセンス方式に移行するものと思われます。

センターではこうしたライセンス方式について理解を深め、ソフトウェア導入の際にトラブルが起きないように、日本サンマイクロシステムズ社から講師をお招きして講習会を開催いたします。

なお、日時・場所等については以下のとおりです。
多数ご参加をお願い致します。

期日: 10月19日(火曜日)

場所: 飯塚キャンパス…端末講義室
戸畑キャンパス…ホセンC教室

時間: 飯塚キャンパス…10:00 ~ 12:00
戸畑キャンパス…14:00 ~ 16:00



九州工業大学情報科学センター

§1. システム保守作業に伴う運用の一時停止について

システム保守作業のため、研究用ワークステーションを除く教育用計算機システム下記の期間停止します。

7月27日(火) 戸畑キャンパスのみ
作業内容:ファイルサーバのディスク交換

7月29日(木) 飯塚キャンパスのみ
作業内容:ファイルサーバのディスク交換

8月13日(金) 戸畑, 飯塚両キャンパス
作業内容:保守作業

§2. 夏季休業期間中のセンター運用スケジュールについて

(1)7月11~7月31日

センター開館時間は、以下のとおりです。なお、この期間教育用ワークステーションは全台数フル稼働します。

月曜日 12:00~17:00
火~金曜日 9:00~17:00

注1. 利用できる教室は、
戸畑キャンパス：ホセンB, ホセンC教室およびデバッグ室
飯塚キャンパス：AV講義室, 端末講義室, 端末演習室1, AV演習室

注2. センター外(ネットワーク経由)からの利用は24時間できます。

(2)8月1~8月31日

センター開館時間は以下のとおりです。教育用ワークステーションは台数を限定した部分稼働になります。

月曜日 12:00~17:00
火~金曜日 9:00~17:00

注1. 利用できる教室は、
戸畑キャンパス：ホセンC教室
飯塚キャンパス： 端末講義室

注2. センター外(ネットワーク経由)からの利用は、次のワークステーションに限り24時間利用できます。

戸畑キャンパス
sumire ,yuri ,rengé ,ayame ,kiku ,azami ,hagi ,hasu

飯塚キャンパス
toki ,hakucho ,hibari ,hayabusa ,raicho ,kari ,taka ,sagi ,tsuru

(3)9月1~9月10日

上記の1)と同じ。



§1. センター臨時閉館について

5月28日(金)は開学記念日のため、計算サービスを停止します。

§2. 端末演習室(1)の利用について(飯塚キャンパス)

端末演習室(1)は、下記の期間中情報技術セミナーで使用します。

- 5月24日(月)～6月18日(金)情報技術セミナー(中級)
- 6月21日(月)～7月 2日(金)情報技術セミナー(上級)

いずれも、時間は9:30～16:50までです。
上記の期間中セミナー関係者以外の利用はご遠慮下さい。



§1. 平成5年度研究登録について

研究システムの新規登録を4月26日(月)から受け付けます。登録用紙は情報科学センター事務室にて配布していますので、必要事項を記入の上センター事務室に提出してください。

§2. 講義利用に関する登録について

講義でセンターを利用する教職員は、講義用のユーザ名を教育システムに登録することができます。また、講義の補佐であるTA(大学院生)についても、1年度単位でTA用のユーザ名を登録することができます。

●講義登録

使用目的 : 講義のための教材作成および電子レポートなどの利用
使用期間 : 1年度単位(ただし継続することができる)
使用者 : 本学教官、技官および非常勤講師

●TA登録

使用目的 : 講義のための教材作成および教官の補佐
使用期間 : 1年度単位(継続不可)
使用者 : 本学の大学院生(講義担当教官の許可が必要)

講義登録およびTA登録は申請が必要です。申請書は情報科学センター事務室にて配布していますので、必要事項を記入の上提出してください。

§3. ユーザ名の削除について

本学を退籍した学生および職員のユーザ名を、4月30日(金)に削除します。特に、大学院に進学した学生については削除対象になりますので注意してください。ファイルなどが必要な学生は、必ず、大学院のユーザ名を登録しファイルをコピーしておいてください。

§4. 教育システムの新規登録について

本年度の教育システムの新規登録は、学生データおよび職員データの登録の関係上4月12日(月)以降となります。

●本年度入学者(学部1年生)

4月12日に完了が完了します。ユーザ名と初期パスワード(ユーザ名通知書)は、センターを利用する最初の授業で配布します。また、前期にセンターを利用する授業がない学生のうち、自主的にセンターを利用したい場合は、センター事務室にユーザ名通知書を取りに来てください。

●本年度入学者(編入生)

4月14日に登録が完了します。センター事務室にユーザ名通知書を取りに来てください。

●本年度入学者(研究生・聴講生)

4月16日にマスタ登録が完了します。各教室事務に登録手順書がありますので、登録手順に従って自分で登録してください。

§1. 年度末および年度始めの計算機サービスの一時停止について

3月27日(土)から4月2日(金)まで、年度末処理およびシステムバックアップ作業のため、以下の計算機サービスが停止します。なお、ネットワークに関しては通常通り利用できます。

- ・研究用システム
- ・戸畑教育用システム
- ・飯塚教育用システム

§2. ネットワークの一時停止について

3月19日(金)17:00より、ネットワーク機器の移設作業を行ないます。作業中、幹線ネットワークなどが瞬断することがありますので注意してください。

◎3月19日(金) 17:00-20:00

§3. 戸畑地区停電によるサービス停止について

3月20日(土)09:00から17:00まで、全学停電となります。よって、センター(戸畑地区)のネットワークおよび教育研究システムは、以下の通り停止します。

◎3月19日(金) 17:00から3月22日(月)12:00まで

§4. 研究用システムの負担金表示コマンドについて

研究用システムの利用料金を、次のコマンドで表示することができます。研究用システムへログインした後、以下のコマンドを入力します。

```
=====
| tsjimoa さんの 93 年 03 月 08 日までの使用料は          |
|-----|
| 戸畑地区ワークステーションディスク課金   : 1230 円   ....(1)|
| alliant スーパーコンピュータディスク課金 :  560 円   ....(2)|
| プリンター使用料                          :   10 円   ....(3)|
| 合計 1800 円です                            ....(4)|
|-----|
=====
```

- (1) 戸畑地区ワークステーションのディスク使用料に対する課金
- (2) alliant のディスク使用料に対する課金
- (3) 戸畑地区ワークステーションから出力したものに対する課金
- (4) (1),(2),(3) の合計

と表示されます。なお、この利用料にはカラープリンタ利用料は含まれていません。また、オプションをつけることによってグラフ表示します。

```
=====
| % charge -f          |
| 日付   : 使用料[円] |
|-----|
| 93/03/01 : **1230   |
| 93/03/02 : **1230   |
| 93/03/03 : **1230   |
| 93/03/04 : **1230   |
| 93/03/05 : **1230   |
| 93/03/06 : **1230   |
| 93/03/07 : **1230   |
| 93/03/08 : **1230   |
|-----|
| 日付   : その日までの利用料金の積算 |
|-----|
=====
```


§1. 講義用ユーザ名の登録および抹消について

平成4年度に使用した講義用ユーザ名を継続(または抹消)する場合は、2月中旬に配布した『講義用ユーザ名確認書』に必要事項を記入の上、2月24日までに情報科学センター事務室に提出してください。

なお、新規の講義用ユーザ名の登録は、3月1日より受付を開始しますので、登録用紙(センター事務室で3月1日より配布されます)に必要事項を記入の上提出してください。

§2. 平成4年度TA用ユーザ名の抹消について

平成4年度に登録しましたTA用ユーザ名は、2月28日をもって抹消しますのでご注意ください。

なお、平成5年度TA用ユーザ名の受付は、4月1日より行う予定です。

§3. センター講義室および演習室の使用について

情報科学センターの講義室および演習室は、講義時間と重ならない限り実験および演習での使用を許可してきました。平成5年度より、情報工学部の入学定員の増加に伴い、講義室と演習室の同時使用が必要となります。このため、センターの講義室および演習室の使用については、これらの調整が終る4月以降にしか許可できませんので御了承ください。

なお、平成5年度より使用できる教室は次の通りです。

教室名(戸畑) | 収容人数 | 教室名(飯塚) | 収容人数

-----|-----|-----|-----
ホセンA | 120名 | 端末講義室 | 90名

-----|-----|-----|-----
ホセンB | 55名 | 端末演習室1 | 22名

-----|-----|-----|-----
ホセンC | 80名 | AV講義室 | 90名

-----|-----|-----|-----
| | AV演習室 | 10名

§4. 3月以降のサービス時間変更について

3月1日(月)より省エネルギー推進のため、AV講義室(飯塚)・ホセンB(戸畑)の各教室を閉鎖します。

なお、3月8日(月)以降の計算機サービス時間は以下の通りです。

曜日 | 教育用WS(飯塚・戸畑) | 研究用WS | MELCOM(戸畑)

-----|-----|-----|-----
月 | 13:00-17:00 | 13:00-24:00 | 13:00-17:00

-----|-----|-----|-----
火-金 | 08:50-17:00 | 00:00-24:00 | 08:50-17:00



§1. 年末年始のサービス時間の変更について

年末年始のサービス業務は以下の通り停止いたします。なお、1月6日(水)からは、平常通り運用します。

12月26日(土)～1月5日(火) まで閉館

§2. 計算機システムの運用について

年末年始のサービス業務停止期間中(12月26日～1月5日まで)は、原則として計算機システムの運用を停止します。ただし、以下の計算機システムは障害が発生しない限り利用できます。

IPアドレス

教育用システム(飯塚)	tsubame.isci.kyutech.ac.jp	131.206.128.2
研究用システム(飯塚)	alale.isci.kyutech.ac.jp	131.206.3.50
教育用システム(戸畑)	rengyoh.isct.kyutech.ac.jp	150.69.3.2
研究用システム(戸畑)	gogyoh.isct.kyutech.ac.jp	150.69.5.2
	nazuna.isct.kyutech.ac.jp	150.69.5.3
	suzusiro.isct.kyutech.ac.jp	150.69.5.4

なお、この間の教育用システムの運転は、電子メールの送受等を行うためのものです。大規模な計算等は自粛してくださるようお願いいたします。

§3. 電話回線(飯塚)の変更について

電話回線(飯塚)からLANにアクセスできる最大数は8回線でしたが、12月7日(月)から9600bps回線のテストのため7回線に減少します。御了承下さい。



§1. 11月のセンター運用時間について

ワークステーションの保守点検のため、戸畑・飯塚両キャンパスとも以下の通り計算サービスを変更します。

11月20日(金) 9:00～17:00 まで運用、夜間運転は停止。

11月21日(土) 終日計算サービスを停止します。



九州工業大学情報科学センター

§1. 夏期休業期間中における運用時間について

夏期休業期間中の運用時間は以下の通りです。

・月曜日

飯塚キャンパス: 12:00~17:00

戸畑キャンパス: 12:00~17:00

・火曜日から金曜日

飯塚キャンパス: 9:00~17:00

戸畑キャンパス: 9:00~17:00

・土曜日

飯塚キャンパス: 閉館

戸畑キャンパス: 閉館

§2. システム保守作業に伴う運用の一時停止について

システム保守作業のため、研究用ワークステーションを除く計算機システム(教育用計算機, X端末, 入出力装置, Melcom)の運用を夏期の期間にわたって一時停止します。

停止期間: 8月12日(水)~8月17日(月)

§3. 研究用ワークステーションにおける定期保守時間帯の導入について

これまで研究用ワークステーションは基本的に連続運転を行ってきましたが、定期的なシステム保守作業を行うため、下記の時間帯は(予告無しに)運用を一時停止することがあります。1週間以上にわたる大型ジョブを実行している利用者は特にご注意下さい。

研究用WSの定期保守時間帯: 毎週月曜日の午前中(12:00まで)



§1. Melcomの研究登録について

MELCOMの研究登録を受付開始致します。登録をご希望の方は以下の申請用紙に必要箇所をご記入の上、センターまで提出して下さい。

§2. 研究登録ユーザ名の変更について

昨年度の広報(特別号)に掲載したとおり、研究登録ユーザ名の変更を受け付けます。この変更は1回限り認めます(MELCOMは不可)。なお、ユーザ名を変更しますと、戸畑の研究ワークステーションだけでなく飯塚のalliantワークステーションのユーザ名も同時に変更されます。さらに、この変更により電子メールのアドレスも変わりますのでご注意ください。

研究登録ユーザ名の変更をご希望の方は、以下の申請用紙に必要事項を記入の上センターに提出して下さい。

§3. Mathematicaの利用について

戸畑の研究用ワークステーション"nazuna"においてグラフィックスおよび数式処理ソフトウェア Mathematica が利用できるようになりました(研究利用登録した利用者のみ)。ただし、使用に際しましてはライセンス契約の関係上で以下の制約があります。

同時に動作可能なプロセス数:2つ以下
(したがって、同時に使用できるユーザは2人まで)

なお、近日中に"suzusiro"および"gogyo"にも Mathematicaをインストール予定ですので、ログインするマシンを使い分けることにより最大6つのプロセスまで同時に使用することができます。

以下に使用例を示します。Mathematica自体の詳細な使用方法については最近多くの文献([1],[2],[3],[4],[5])が出版されていますのでそちらを参考にしてください。

<<使用例>>

グラフィック機能を使わないときは、以下の(1),(2)は必要ありません。直接(3)から実行開始してください。また、直接ホストマシンにつながっているX端末から使う場合は、ログイン後(4)から実行してください。なお、飯塚キャンパスから利用する場合、飯塚・戸畑キャンパス間のデータ転送のためのグラフィック表示に多少時間がかかります。

(1)まず現在自分の使用しているX端末のドメイン名を調べます。例えばセンターのX端末の場合、以下のようして who コマンドにより調べることができます。

```
murasaki% who
----
inoue tty1 Jun 4 09:25 (natsu-2.isci.kyu)
jin tty2 Jun 4 11:55 (:0.0)
takefu tty5 Jun 4 11:36 (natsu05.isci.kyu)
-----
```

(2)次のコマンドによって自分のX端末に表示許可を与えます。

```
murasaki% xhost +
-----
```

(3)戸畑の研究用ワークステーション"nazuna" に rlogin します。近日中に"suzusiro" および "gogyo"においても同様に利用可能になる予定です。

```
murasaki% rlogin nazuna.isct.kyutech.ac.jp
password:
-----
Last login: Thu Jun 4 11:59:33 from murasaki.isci.ky
SunOS Release 4.1.1-JLE1.1.1RevB (ISCEDU) #2: Sat Apl 4 21:56

nazuna% setenv DISPLAY natsu-5.isci.kyutech.ac.jp
-----
```

(4)mathコマンドにより Mathematica を起動する。

```
nazua% math (あるいは /usr/local/bin/math)
-----
Mathematica 2.0 for SPARC
Copyright 1988-91 Wolfram Research, Inc.
-- X11 windows graphics initialized --

In[1]:= Plot3D[ Sin[x*y],[x,-3.0,3.0],[y,-3.0,3.0]]
-----
Out[1]= -SurfaceGraphics-
ウィンドウが作られ z=sin(xy) (x,yの範囲:-3 2],[x -> 1])

In[3]:= Quit Mathematica の終了
-----
nazuna%
nazuna% exit
-----
```

murasaki%

参考文献

- [1]Mathematica -A Sysytem for Doing Mathematics by Computer -
Second Edition (日本語版), 1992
(著者)スティーブン・ウルフラム, (訳)白水重明
(出版)アジソン・ウエスレイ・トッパン
- [2]Mathematica 数式処理入門
(著者)小池慎一, (出版)技術評論社
- [3]Mathematica プログラミン技法
(著者)R.メーダ, (監訳)井川利彦, (訳)宇田川誠一・時田節
(出版)アジソン・ウエスレイ・トッパン
- [4]Mathematica 理工系ツールとしての
(著者)R.E.クランドール, (訳)伊藤利明・蔡東生
(出版)アジソン・ウエスレイ・トッパン
- [5]Mathematica 計算の愉しみ
(著者)I・ヴァルディ, (訳)時田節
(出版)アジソン・ウエスレイ・トッパン

§4. Sの利用について

戸畑の研究用ワークステーション"nazuna" および "gogyo" においてグラフィックおよびデータ解析のためのソフトウェアSが利用できるようになりました(研究利用登録した利用者のみ)。Sのライセンスは上記の Mathematica と違いプロセス数に制限はありませんので、メモリの許す限り複数プロセスを同時に実行させることができます。

以下にSの使用例を示します。S自体の詳細な使用方法については文献([1],[2])を参考にしてください。

<<使用例>>

グラフィック機能を使わないときは、以下の(1),(2)は必要ありません。直接(3)から実行開始してください。また、直接ホストマシンにつながっているX端末から使う場合はログイン後(4)から実行してください。なお、飯塚キャンパスから利用する場合、飯塚・戸畑キャンパス間のデータ転送のためグラフィック表示にかなり時間がかかります。

(1)まず、現在自分の使用しているX端末のドメイン名を調べます。例えばセンターのX端末の場合、以下のようにして who コマンドにより調べることができます。

```
murasaki% who
```

```
inoue tty1 Jun 4 09:25 (natsu-2.isci.kyu)
jin tty2 Jun 4 11:55 (:0.0)
takefu tty5 Jun 4 11:36 (natsu05.isci.kyu)
```

(2)次のコマンドによって自分のX端末に表示許可を与えます。

```
murasaki% xhost +
```

(3)戸畑の研究用ワークステーション"nazuna" に rlogin します。

```
murasaki% rlogin nazuna.isct.kyutech.ac.jp
```

```
password:
```

```
Last login: Thu Jun 4 11:59:33 from murasaki.isci.ky
SunOS Release 4.1.1-JLE1.1.1RevB (ISCEDU) #2: Sat Apl 4 21:56
```

```
nazuna% setenv DISPLAY natsu-5.isci.kyutech.ac.jp
```

(4)環境変数 SHOME にSの実行可能プログラムのあるディレクトリを設定します。

```
nazuna% setenv SHOME /appli/s/SV3R2
```

(5)SコマンドによりSを起動します。

```
nazuna% S ...起動には必ず大文字の"S".(あるいは /usr/local/bin/S)
```

```
S Language version 3.2 (S Wed Oct 2 17:25:09 JST 1991)
Copyright(c) AT&T Co.,Ltd.
Copyright(c) ISAC,Inc.
SToolkit version 2.00.28 for Openwindows Copyright(c) ISAC,Inc.
kanji code: EUC
```

```
>x <- c(1,3,5,2,10,20,4) ..テストデータを作る
```

```
>sort(x) ..データをソートする
```

```
[1]1 2 3 4 5 10 20
```

```
>mean(x) ..データの平均値を求める
```

```
[1] 6.428571
```

```
>x11() ..グラフィックを使う時だけ必要
```

```
>usa()
```

アメリカ合衆国の図を描き始める。
飯塚キャンパスからだとかかり時間がかかる。

>q() ..Sの終了

nazuna%
nazuna% exit

murasaki%

参考文献

[1]S言語II
-データ解析とグラフィックスのためのプログラミング環境-
(著者)R.A.ベッカー, J.M.チェンバース, A.R.ウィクルス,
(訳)渋谷政昭・柴田里程, (出版)共立出版
[2]Sによるデータ解析
(訳)渋谷政昭・柴田里程, (出版)共立出版

§5. 数値計算および統計計算ライブラリIMSLの利用について

戸畑の研究用ワークステーション "nazuna" および "gogyo" において数値計算および統計計算ライブラリIMSLが利用できるようになりました(研究利用登録した利用者のみ)。以下に使用例を示します。IMSLの詳細な使用方法についてはマニュアル(IMSL MATH/LIBRARY, IMSL STAT/LIBRARY)を参考にしてください。なお、このマニュアルは戸畑センターの2階の受付に用意してあります。

<<使用例>>

(1)戸畑の研究用ワークステーション"nazuna", "gogyo"あるいは飯塚の研究用ワークステーション(Alliant)"alale" に rlogin します。

```
murasaki% rlogin nazuna.isct.kyutech.ac.jp
```

```
password:
```

```
Last login: Thu Jun 4 11:59:33 from murasaki.isci.ky  
SunOS Release 4.1.1-JLE1.1.1RevB (ISCEDU) #2: Sat Apl 4 21:56  
nazuna%
```

(2)まずプログラムを作成し、以下のようにコンパイルして実行します。

テストプログラムの例として、
 $y_1' = -y_1 - y_1 y_2 + k_1 y_2$
 $y_2' = -k_2 y_2 + k_2 (1 - y_2) y_1$
初期条件: $y_1(0) = 1, y_2(0) = 0$
 $k_1 = 295, k_2 = 3, k_3 = 0.0102048$
出力結果: $x = 240$ のときの値
の連立非線形微分方程式を解く問題を考える。

```
nazuna% cat test.f ..テストプログラムの内容  
c Test program to solve a differential equation  
integer mxparm,n  
parameter (mxparm=50,n=2)  
integer ido,istep,nout  
real param(mvparm),t,tend,tol,y(n)  
external ivprk,sset,umach,fcn  
c  
call umach(2,nout)  
t=0.0  
y(1)=1.0  
y(2)=0.0  
tol=0.001  
call sset(xmparm,0.0,param,1)  
param(10)=1.0  
write(nout,9998)  
ido=1  
istep=0  
10 continue  
istep=istep+24  
tend=istep  
call ivprk(ido,n,fcn,t,tend,tol,param,y)  
if(istep.eq.240)then  
  write(nout,'(i6,3f12.3)') istep/24,t,y  
  if(istep.eq.240) ido=3  
  goto 10  
endif  
write(nout,9999) param(35)  
9998 format(4x,'istep',5x,'time',9x,'y1',11x,'y2')  
9999 format(4x,'Number of fcn calls with ivprk=',f6.0)  
end  
c  
c  
subroutine fcn(n,t,y,yprime)  
integer n  
real t,y(n),yprime(n)  
real ak1,ak2,ak3  
data ak1,ak2,ak3/294.0e0,3.0e0,0.01020408e0/  
yprime(1)= -y(1) -y(1)*y(2) + ak1*y(2)  
yprime(2)= -ak2*y(2) + ak3*(1.0e0 - y(2))*y(1)  
return  
end  
nazuna% f77 test.f -limsl ..コンパイル("nazuna","gogyo")
```

```
test.f:
MAIN:
fcn:
```

<<注>>"alale"でコンパイルするときは、引用するライブラリによって、

```
%fortran test.f -lmath ..数値計算ライブラリ
%fortran test.f -lstat ..統計計算ライブラリ
%fortran test.f -lsfun ..特殊関数ライブラリ
```

のいずれかによって行う。なお、"nazuna", "gogyo"ではこれら3つのライブラリは統一されて一つ(imsi)になっていますので個別に指定する必要はありません。

nazuna% a.out ..コンパイル結果を実行

```
-----
istep time    y1    y2
 1 24.000  0.688  0.002
 2 48.000  0.634  0.002
 3 72.000  0.589  0.002
 4 96.000  0.549  0.002
 5 120.000 0.514  0.002
 6 144.000 0.484  0.002
 7 168.000 0.457  0.002
 8 192.000 0.433  0.001
 9 216.000 0.411  0.001
10 240.000 0.391  0.001
Number of fcn calls with ivprk=2153.
```

```
nazuna%
nazuna% exit
-----
```

§6. 福岡市近辺から九大大型計算機センターを経由して九工大マシンをアクセスする方法

この方法を利用しますと、例えば福岡市在住の方がNTT電話回線と2400bpsの低価格モデムを使い、九大大型計算機センターのunixシステム(UXP)を介して安い電話料金(自宅から九大センターまでの回線使用料のみ)で九工大のマシンを利用することができます。

このためには、まず次の2つの手順により九大大型計算機センターに利用登録をする必要があります。

- (a) 九大大型計算機センターへの利用申請用紙は情報科学センター事務室に用意してありますので、必要事項を記入して情報科学センターに提出します。
- (b) 九大大型計算機センターへの利用登録が完了しますと計算機利用承認書が送付されますので、それを見ながらまず汎用計算機システムMSPにログオンし、SHINSEIコマンドによりunixシステムUXPの利用申請をします。UXPの登録作業には数時間程かかります。

<<注>>不明な点がありましたら九大大型計算機センターネットワーク掛(092-641-1101, ext.2543)までお問い合わせ下さい。

基本的な使用例として、自宅のパソコン端末(PC9801シリーズを想定)からモデムと電話回線を使って利用する場合について説明します。パソコンおよびモデムの設定に関しては省略し(モデムがMNP対応のときはできるだけMNPモードで使用する)、以下の機器およびソフトウェアを前提とします。

```
端末 ....パソコン
回線 ....電話回線 092-631-1839, 092-631-1906
(この回線はMNP対応になっています)
端末エミュレータ....高エネルギー研究所藤井啓文氏による PDS
Kermit "msvp98.exe"
(入手方法については上記ネットワーク掛まで)
モデム ....1200/2400bps (V.22/V.22bis)対応モデム
```

主な操作手順は

- (1) パソコンと九大大型計算機センターUXPとを結ぶ電話回線を確立してUXPにログインする。
- (2) UXPから九工大のunixマシンにtelnetする。

の2点です。まず、パソコン(MS-DOS)を起動した後、UXPとパソコンを結ぶ回線を確立するために、モデムの電源を入れ以下の操作を行います。

(1) UTSとパソコンとの回線の確立

```
A> msvp98
```

```
-----
NEC PC-9801 (KEK v1.15 25 Apr 1989)MS-Kermit: 2.32/A 21 Jan 1989
Copyright (C) Trustees of Columbia University 1982,1989.
```

```
Type ? or HELP for help
MS-Kermit> set speed 2400
```

```
MS-Kermit> set parity none
```

```
MS-Kermit> set terminal vt102
```

```
MS-Kermit> set terminal Kanji-code DEC-code
```

```
MS-Kermit> connect ..cだけでもよい
-----
.....
atdp092-631-1893
-----
(または atdp092-631-1906)
CONNECT
-- ..マイナスキーを押す(リターンキー不要)
enter class u .."u"キーを押してリターンキーを入力
-----
class u start
kyu-cc
Welcome to FUJITSU UTS
login: a79999a ..ログイン名を入力
-----
password: ..パスワードを入力
-----
.....
Terminal Type: vt100 ..端末タイプを入力(通常はvt100)
-----
% ..UXPプロンプト

(2)UXPから九工大マシン(例として戸畑研究用マシン"nazuna")にtelnet

% telnet nazuna.isct.kyutech.ac.jp
-----
.....
login:
password:
-----
.....
% ..nazunaのプロンプト
```

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

§1. 5月以降のセンター運用時間について

平成4年5月1日から国家公務員の完全週休二日制が実施されます。これに伴い、センターの教育研究用コンピュータシステムの運用時間は以下のようになります。

1. センター開館時間帯

・月曜日

飯塚キャンパス：12:00～22:00

戸畑キャンパス：12:00～22:00

・火曜日から金曜日

飯塚キャンパス：9:00～22:00

戸畑キャンパス：9:00～22:00

・土曜日

飯塚キャンパス：閉館

戸畑キャンパス：12:00～18:00

※ただし、土曜日の運用サービスは平日の夜間サービスに準じる。

・日曜日および祭日

飯塚および戸畑キャンパス：閉館

2. 教育用システムおよびセンター内入出力機器

正規サービスは上記のセンター開館時間帯に限る。ただし、ファイルサーバおよびワークステーション数台は、連続運転*1を行うので、閉館時でもネットワーク経由で利用できる。障害発生時には原則として次の開館時まで利用できない。

*1 毎朝開館時に自動的に reboot を実行するので厳密には連続運転ではない

3. 研究システム

・戸畑のMELCOM

月曜日：12:00～22:00

火曜日～金曜日：8:50～22:00

土、日、祭日：運用停止

・飯塚のalliantおよび戸畑の研究用ワークステーション

連続運転。ただし、センター内入出力機器の使用はセンター開館時のみ。

§2. 研究利用登録の受付について

研究用システム利用登録の受付を5月1日から開始しました。登録の方法および研究用システムの概要については以下の通りです。研究登録された利用者は、以下の研究用システム(ハードウェアおよびソフトウェア)を利用することができます。なお、当センターの研究用システムを使用せず、直接ネットワーク経由で九大大型計算機センターを利用する場合には、研究登録の必要はありません。

MELCOMの登録については準備にて間取っており、登録方法および申請用紙は次号のセンターニュースに掲載する予定です(5月中旬以降)。

また、研究システムの利用講習会(入出力機器、ソフトウェアの利用法など)および利用の手引は出来るだけ早い時期に開催・作成するよう準備を進めています。

(1) 登録方法

登録をご希望の方は下記の申請用紙(同じものがセンター事務室にも用意)に必要事項を記入の上センター事務室までご提出ください。なお、FAX(番号は第1ページの右上に掲載)でも受け付けております。

<<注>>申請用紙の研究用IDはできれば各学科のマシンのIDと同じにするのが望ましい。同じ場合、rloginコマンドにより同じ環境で両システムを使うことができる。

(2) 研究利用負担金

基本負担金：支払い責任者登録 10,000円

課題登録 10,000円

ファイル負担金：MELCOM 無料

WS,alliant 5MBを越えた分 1円/MB×日

用紙負担金：MELCOM ラインプリンタ

1,000枚を越えるものに対して3円/枚

ポストスクリプトプリンタ

1,000枚を越えるものに対して7円/枚

カラープリンタ

300円/枚

バーサティックプリンタ用紙とXYプロッタ用紙は利用者負担

(3) 研究用システム構成(ハードウェア)

(4) 研究用システム構成(ソフトウェア)

・戸畑キャンパス

ソフトウェア名 現時点でのバージョン 稼働ホスト

SunFortran 1.4
Sun Pascal 2.1
Sun C++ 2.1
Sun C' 1.1
Sun PHIGS 1.4および2.0
XGL 2.0
Sun Vision 1.1
DevGuide 1.1
Advanced-CAD
Tex
IMSL 2.0
S 3.0
Mathematica 2.0

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

●NO.35 4.21

1. センター利用細則の改訂について
2. 平成4年度ライブラリ開発収集計画の受付開始について

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

●NO.35 4.21

1. センター利用細則の改訂について
2. 平成4年度ライブラリ開発収集計画の受付開始について

●NO.34 3.21

1. 研究システムの継続
2. 授業用IDと手続きについて
3. 新システムの運用について



●NO.33 2.11

1. ファイル移行はもうお済みですか？
2. 2月移行の計算機運用スケジュールについて
3. ホスト計算機上での電子メールサービスの停止について(再掲)
4. ファイル移行について(再掲)
5. ホスト計算機撤去後の九大大型センターの利用方法について(再掲)

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター

●NO.32



九州工業大学情報科学センター

●NO.31 11.28

1. 12月以降のホスト延長運転について
2. 年末年始のサービス停止期間について
3. 研究用ファイルサーバの公開について
4. 講義室の利用時間変更について

  NEXT 

九州工業大学情報科学センター